

平成 25 年度 施 策 評 価

(平成 24 年度 事後評価)

平成 25 年 8 月

太宰府市

< 目 次 >

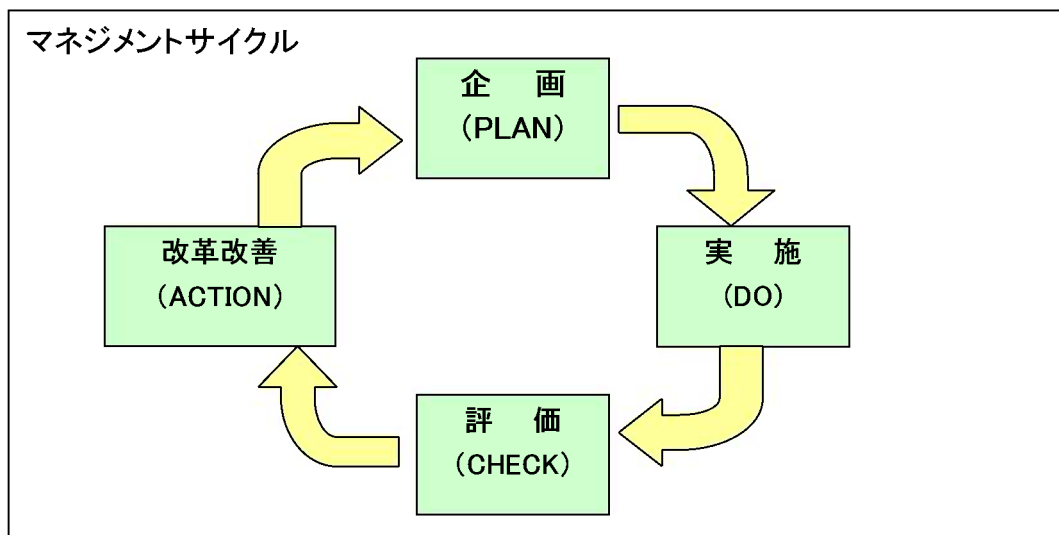
| | |
|----------------------------|---|
| 平成 25 年度太宰府市行政評価について | 1 |
| 施策評価シートの見方 | 3 |
| 第五次総合計画前期基本計画施策一覧表 | 4 |
| 第五次総合計画前期基本計画（目標） | |
| 01 健やかでやすらぎのある福祉のまちづくり | |
| 02 安全で安心して暮らせるまちづくり | |
| 03 豊かな心を育みふれあいを大切にするまちづくり | |
| 04 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり | |
| 05 魅力的な生活空間が整い産業が活気づくまちづくり | |
| 06 歴史を活かし文化を守り育てるまちづくり | |
| 07 市民と共に考え共に創るまちづくり | |
| 第五次総合計画前期基本計画施策評価シート | 5 |

平成 25 年度行政評価について

1 はじめに

太宰府市においては、平成 13 年度に事務事業評価を施行導入した後、平成 17 年度より「行政活動の成果を一定の基準・視点により評価し、その評価結果を改善に結び付ける手法」の一つとして行政評価の取り組みを行ってきています。評価する項目として、現在、実施している総合計画基本計画の体系に沿った施策という大きな単位で行っています。

この取り組みを日常的な実務としての定着化を進め、個々の事務事業の点検、改革改善に止まらず、施策評価、事務事業評価を活用した事務事業の再編や予算配分の重点化、市政運営全般の改革改善を行うなど、簡素で効率的な市民協働の行政運営の仕組みを作り上げるため、「企画→実施→評価→改革改善」のマネジメント（経営）サイクルの確立を目指していきます。



2 行政評価の概要

行政評価は基本的に「目的に対して手段がどれだけ効果を上げたのか」を客観的に測る仕組みであるため、行政活動の〔目的－手段〕関係を明らかにした政策体系に則して評価を行います。つまり、「政策」を評価する「政策評価」、「施策」を評価する「施策評価」、「事務事業」を評価する「事務事業評価」の三つによって構成されます。

(1) 政策評価とは

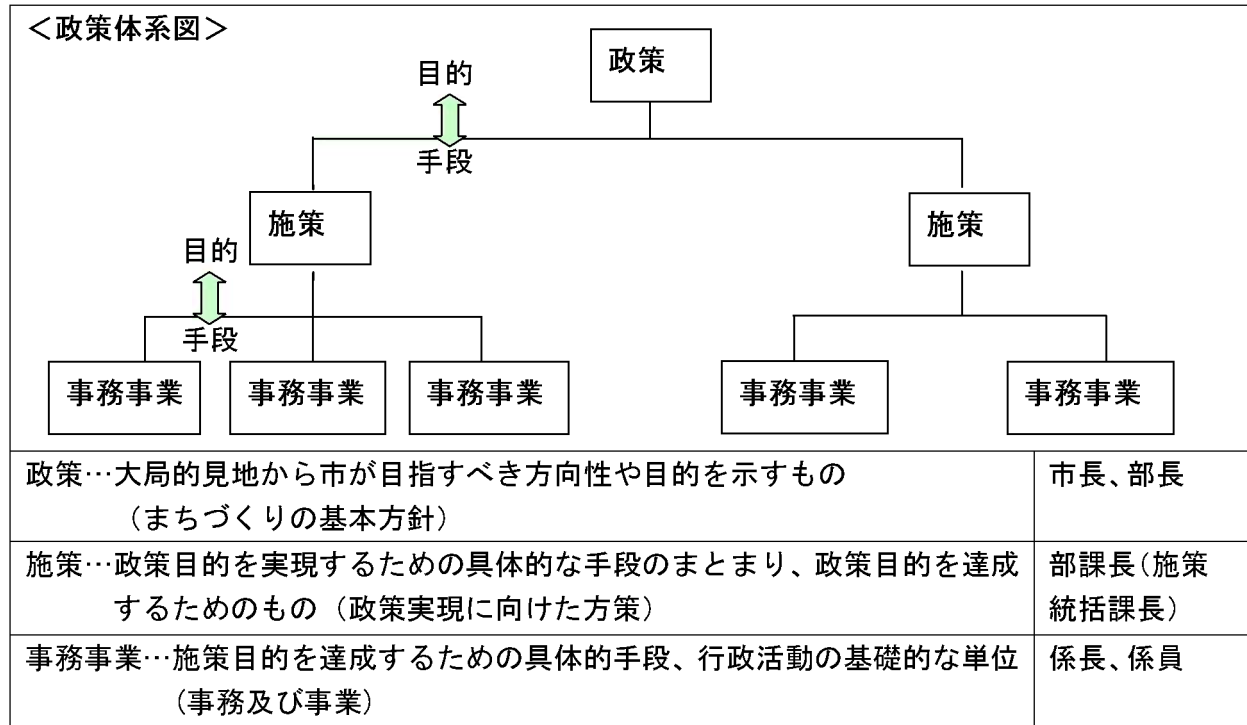
自治体の基本目標を実現するため、大局的な観点から政策分野、施策間の調整や重点施策の設定を行い、施策優先度の判断に活用するものです。

(2) 施策評価とは

基本計画に示される施策について、施策の成果指標に基づいて、施策自体の成果、達成度を評価し、次年度の施策目標の設定と施策を構成する事務事業の選択肢とするものです。

(3) 事務事業評価とは

政策・施策目的を達成するための個々の活動が対象であり、成果指標、活動指標を設定し、その達成度並びに効率的・効果的視点から評価し、事務事業の改革改善や職員の意識改革に活用するものです。



これらを体系化させ、総合計画と予算への反映をはじめ、今後の継続的な取り組みによって、情報公開、組織、人事などへと連携させることを目指しています。

3 評価の主体

評価方法として自治体自身が評価の実施主体となり自己点検する内部評価と行政組織以外、即ち市民等による評価である外部評価があり、外部評価は市民への公表や市民参画による評価委員会を設置して行われています。本市においては職員の意識改革を重視させ内部評価とし、評価結果（施策評価）は市民にわかりやすい方法で公表を行います。

評価結果を生かした住民と行政の協働を進め、改革改善を実現していくためには、評価結果を広報やインターネット、説明会、ワークショップ、利害関係者との協議など、あらゆる場面で公表し、各施策関係課や職場単位で、住民に理解と協力を求める「住民との協働評価」を実施し、協働関係を実質的に築いていくことが必要です。

4 評価の方法

政策評価・施策評価などを進めるためには、その前提として、成果指標の設定、成果測定方法の企画、現状値の把握、目標値の設定が必要となります。

本年度は第五次総合計画前期基本計画の施策体系のもと、施策評価が可能な体系に整理し、施策の対象、意図に基づいて施策成果指標の設定を行い、評価を実施しました。

また、評価を実施するうえでは指標の選択と実績値の把握が重要なため、平成 21 年度を基準値として、前期基本計画の最終年度である平成 27 年度に目標値を掲げ、事実を示す数値や市民意識調査の調査結果を実績値としています。

このことにより、各年度の目標に対する達成度や実績を客観的に理解できるようになります。また、評価結果に対して、あらゆる面からの改善（内容改善、手法改善、コスト改善等）を総括し、次年度へ向けた事業の展開につなげていくことができるようになります。

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | | | | | |
|---------------|--------|-----------------------------------|----------------|----|------|------|---------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 評価対象年度(平成24年度)となります。 | 作成日 | 平成 | 年 | 月 | 日 |
| 施策名 | 00 | 0 | 施策コード | 0 | - | 00 | |
| 第五次総合計画 目標 | 0:0 | 施策の上位にある第五次総合計画前期基本計画の目標を記入しています。 | 施策統括課 統括課長名 | 0 | #N/A | #N/A | 内線 #N/A |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

施策の現状及び懸案事項について記述しています。

(2) 主な事務事業・取り組み

施策の中でも主な事務事業や取り組みについて記述しています。

施策を統括する課長が施策について、関係部署と協議し、シートを作成します。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|-----|------------|------------|----|
| 指標1 | | 0.0% | 0 |
| 指標2 | | 0.0% | 0 |
| 指標3 | | 0.0% | 0 |

第五次総合計画前期基本計画(平成21年度基準で、平成23年度から平成27年度まで5年間)の施策における成果指標を記述しています。

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標名 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 基準 | 実績 | | | | | 目標 | 実績 |
| | 指標1 | 0.0% | | | | | | | |
| | 指標2 | 0.0% | | | | | | | |
| | 指標3 | 0.0% | | | | | | | |

第五次総合計画前期基本計画成果指標一覧より施策の実績値を記述しています。また、目標年度である平成27年度の目標値までの各年度の目標を記述し、目標達成になっているかを見られるようにしています。

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|-------|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|---|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | |
| 1 | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

施策の中で、事務事業及び所管課、その事業に伴う予算決算を記述しています。なお、予算決算には事業にかかる職員人件費も含めています。

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

当該年度の成果を記述しています。また、特に施策成果指標を押し上げる要因になった事務事業については詳細に記述しています。

(2) 残されている課題(克服しなげなければならない問題など)

当該年度の施策目標達成する中で事業として達成できなかったものを記述しています。また、指標を下げているような事務事業に対してどう取り組むかを記述しています。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取組など)

上段の課題解決に向けて取り組む内容や今後の方向性などについて記述しています。

部長確認欄

(1) 施策に対する全体的な所見

統括課長が記入した施策評価シートの内容を確認し、施策統括課長の所属部長が所見を記述しています。

| | |
|-------|-----|
| 記入日 | |
| 所属部長名 | 0 0 |
| | 0 |
| 内線 | 0 |

第五次太宰府市総合計画前期基本計画 施策一覧表

| No | 施策名 | 施策統括課 | 関係部署 | 頁 |
|----|-----------------|------------|-------------------------------------|----|
| 01 | 子育て支援の推進 | 子育て支援課 | 子育て支援課、国保年金課、学校教育課 | 5 |
| 02 | 高齢者福祉の推進 | 高齢者支援課 | 高齢者支援課、福祉課 | 6 |
| 03 | 障がい者福祉の推進 | 福祉課 | 福祉課、国保年金課 | 7 |
| 04 | 地域福祉の推進 | 福祉課 | 福祉課、教務課 | 8 |
| 05 | 生涯健康づくりの推進 | 保健センター | 保健センター | 9 |
| 06 | 社会保障の適正な運営 | 国保年金課 | 国保年金課、福祉課、高齢者支援課 | 10 |
| 07 | 防災・消防体制の整備充実 | 協働のまち推進課 | 協働のまち推進課、商工農政課、建設課、保健センター | 11 |
| 08 | 防犯・暴力追放運動の推進 | 協働のまち推進課 | 協働のまち推進課、建設課 | 12 |
| 09 | 交通安全対策の推進 | 協働のまち推進課 | 協働のまち推進課、建設課 | 13 |
| 10 | 安全な消費生活の推進 | 商工農政課 | 商工農政課 | 14 |
| 11 | 人権を尊重するまちづくりの推進 | 人権政策課 | 人権政策課、教務課 | 15 |
| 12 | 男女共同参画の推進 | 人権政策課 | 人権政策課 | 16 |
| 13 | 生涯学習の推進 | 生涯学習課 | 生涯学習課、中央公民館、市民図書館 | 17 |
| 14 | 社会教育の推進 | 生涯学習課 | 生涯学習課 | 18 |
| 15 | 学校教育の充実 | 学校教育課 | 学校教育課、教務課 | 19 |
| 16 | 文化芸術の振興 | 生涯学習課 | 生涯学習課、情報・公文書館推進課 | 20 |
| 17 | 生活環境の向上 | 環境課 | 環境課 | 21 |
| 18 | 自然共生社会の構築 | 環境課 | 環境課、商工農政課、都市計画課 | 22 |
| 19 | 循環型社会の構築 | 環境課 | 環境課 | 23 |
| 20 | 低炭素社会の構築 | 環境課 | 環境課 | 24 |
| 21 | 環境教育・学習の推進 | 環境課 | 環境課 | 25 |
| 22 | 未来に伝える景観づくり | 都市計画課 | 都市計画課、商工農政課、建設課 | 26 |
| 23 | 計画的なまちづくりの推進 | 都市計画課 | 都市計画課、建設課 | 27 |
| 24 | 地域交通体系の整備 | 建設課 | 建設課、都市計画課、協働のまち推進課 | 28 |
| 25 | 良質な水道水の安定供給 | 上下水道課 | 上下水道課、施設課 | 29 |
| 26 | 下水道の整備と普及促進 | 上下水道課 | 上下水道課、施設課 | 30 |
| 27 | 産業の振興 | 商工農政課 | 商工農政課、建設課 | 31 |
| 28 | 文化遺産の保存と活用 | 文化財課 | 文化財課 | 32 |
| 29 | 観光基盤の整備充実 | 観光交流課 | 観光交流課、経営企画課 | 33 |
| 30 | 国際交流・友好都市交流の推進 | 観光交流課 | 観光交流課 | 34 |
| 31 | 市民参画の推進 | 協働のまち推進課 | 協働のまち推進課、経営企画課 | 35 |
| 32 | 情報の共有化と活用 | 情報・公文書館推進課 | 情報・公文書館推進課、経営企画課 | 36 |
| 33 | 市民のための行政運営 | 経営企画課 | 経営企画課、総務課、公共施設整備推進課、会計課、管財課、税務課、納税課 | 37 |
| 34 | 広域連携の推進 | 経営企画課 | 経営企画課 | 38 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|-----------------------|-------|------------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 10 日 |
| 施策名 | 01 子育て支援の推進 | 施策コード | 1 - 01 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 9 健康福祉部子育て支援課 |
| 目標 | 1 健やかでやすらぎのある福祉のまちづくり | 統括課長名 | 小嶋 禎二 内線 317 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

- 増築、分園の整備による定員増以上に保育所の入所申し込みがあり、待機児童が出ている。
- 子ども医療費支給事業は、小学校3年生の入院まで対象を拡大したが、さらなる対象拡大の要望がある。
- 学童保育所は年々入所希望児童数が増加している。特に夏休みなどの長期休業中に対する受け入れに對しての対応が課題である。

(2) 主な事務事業・取り組み

- 保育所の待機児童を解消するため既存保育所の増築、分園設置による定員増を図る。
- 子ども医療費支給事業は、対象年齢の拡大に関して調査研究を行う。
- 学校から帰宅しても、父母の就労、または病気等で家庭において適切な監護に欠ける児童に対して市内10箇所の学童保育所で保育をする。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|----------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 子育てをしやすいと感じる保護者の割合 | 52.6% | 70.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 認可保育所入所希望者のうち入所できない児童数 | 93人 | 0人 | 待機児童調べから |
| 指標3 | | | |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 52.6% | 75.0% | 75.0% | 72.8% | 75.0% | 68.5% | 75.0% | | 75.0% | | 75.0% | | 70.0% | |
| | 指標2 | 93人 | 106人 | 147人 | 147人 | 120人 | 88人 | 90人 | | 90人 | | 90人 | | 0人 | |
| | 指標3 | | | | | | | | | | | | | | |

(2) 構成事務事業

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|----------------------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 |
| 1 児童(子ども)手当支給事務 | 子育て支援課 | 1,237,562 | 1,718,076 | 1,456,317 | 1,321,825 | 1,327,168 | 1,351,803 | | | | | | |
| 2 児童扶養手当支給事務 | 子育て支援課 | 240,512 | 259,798 | 262,977 | 266,362 | 257,212 | 271,663 | | | | | | |
| 3 特別児童扶養手当支給事務 | 子育て支援課 | 1,619 | 839 | 831 | 865 | 654 | 687 | | | | | | |
| 4 母子寡婦福祉事業 | 子育て支援課 | 3,201 | 3,849 | 3,849 | 3,849 | 756 | 780 | | | | | | |
| 5 母子家庭自立支援給付事業 | 子育て支援課 | 8,294 | 14,585 | 11,086 | 13,043 | 11,076 | 9,698 | | | | | | |
| 6 子育て短期支援事業 | 子育て支援課 | 0 | 65 | 0 | 65 | 0 | 65 | | | | | | |
| 7 重度心身障がい児看護料支給事務 | 子育て支援課 | 7,900 | 8,772 | 8,287 | 10,046 | 9,860 | 11,064 | | | | | | |
| 8 母子生活支援施設等事業 | 子育て支援課 | 3,563 | 15,970 | 8,007 | 16,576 | 7,806 | 13,616 | | | | | | |
| 9 ひとり親家庭等医療費支給事務 | 国保年金課 | 46,748 | 52,442 | 43,073 | 47,454 | 38,082 | 46,850 | | | | | | |
| 10 子ども医療費支給事務 | 国保年金課 | 177,834 | 185,236 | 178,249 | 216,193 | 178,862 | 204,616 | | | | | | |
| 11 子育て支援センター事業 | 子育て支援課 | 56,936 | 51,566 | 51,421 | 51,507 | 47,924 | 49,579 | | | | | | |
| 12 ファミリー・サポート・センター事業 | 子育て支援課 | 8,542 | 10,411 | 9,809 | 9,922 | 11,507 | 9,849 | | | | | | |
| 13 幼稚園就園奨励費等補助事業 | 子育て支援課 | 96,960 | 103,585 | 100,206 | 113,047 | 107,970 | 114,689 | | | | | | |
| 14 ブックスタート事業 | 市民図書館 | | | | 480 | 429 | 976 | | | | | | |
| 15 児童虐待の防止事業 | 子育て支援課 | 7,917 | 9,008 | 9,164 | 8,968 | 7,374 | 7,375 | | | | | | |
| 16 保育所運営事業 | 子育て支援課 | 1,174,618 | 1,050,930 | 1,191,940 | 1,250,457 | 1,162,358 | 1,444,196 | | | | | | |
| 17 乳幼児健康支援一時預かり事業 | 子育て支援課 | 6,788 | 6,890 | 6,890 | 6,890 | 6,735 | 6,890 | | | | | | |
| 18 保育所保護者学習会補助金 | 子育て支援課 | 665 | 665 | 665 | 665 | 665 | 760 | | | | | | |
| 19 届出保育施設補助事業 | 子育て支援課 | 90 | 168 | 103 | 418 | 212 | 347 | | | | | | |
| 20 学童保育所管理運営事業 | 学校教育課 | 80,485 | 70,158 | 70,627 | 72,633 | 69,277 | 65,079 | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 3,160,234 | 3,563,013 | 3,413,501 | 3,411,265 | 3,245,927 | 3,610,582 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

- 星ヶ丘保育園の増築工事により、平成24年4月1日から定員を40人増とし、入所定員を940人とした。
- 筑紫保育園の分園整備により、平成24年6月1日から定員を38人増とし、入所定員を978人とした。
- 子ども医療費支給事業は、平成24年7月から小学校3年生の入院まで対象拡大を行った。
- 学童保育所の指定管理者制度移行(平成25年7月1日)に向けて調整、協議を行った。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

- 保育所の待機児童解消。
- 子ども医療費支給事業に関して、対象年齢拡大の要望がある。
- 学童保育所入所希望者数の増加に対する受け入れ体制づくり。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)

- 待機児童解消に向けて認可保育所の新設により、平成25年4月1日から定員60人増とし、入所定員を1,038人とする。また、今後は増築などにより保育所定員の拡充を図っていく。
- 子ども医療費支給事業の対象年齢拡大に係る調査研究を引き続き行う。
- 学童保育所運営充実に向けた指定管理者制度移行と移行後の対応。

部長確認欄

| | | | | | |
|---|--|--|--|-------|----------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | | 記入日 | 8 月 10 日 |
| 平成22年度から26年度までの5か年間を計画期間として、太宰府市次世代育成支援対策後期行動計画(通称にこにプラン)を策定し、さまざまな事業の取り組みを実施することにより子育て支援の推進を図っている。 | | 少子化の進展や核家族化、情報化など社会構造の急激な変化に伴い、次世代を担う子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、子どもを安心して産み、育てることが出来る環境づくりのため、子育て家庭への支援、保育サービスの充実及び乳幼児医療費の助成の拡大などが、ますます重要となっている。 | | 所属部長名 | |
| | | | | 3 | 健康福祉部長 |
| | | | | | 中島 俊二 |
| | | | | | 内線 327 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------------|-----------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 1 日 |
| 施策名 | 02 高齢者福祉の推進 | 施策コード | 1 - 02 |
| 第五次総合計画 目標 | 1 健やかでやすらぎのある福祉のまちづくり | 施策統括課 | 10 健康福祉部高齢者支援課 |
| | | 統括課長名 | 平田 良富 内線 358 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- 本格的な超高齢社会到来のなか、近い将来には3人に1人が高齢者という時期を迎えるという状況を見据えて、約8割以上を占める比較的元気な高齢者に地域や社会を構成する一員として、その豊かな知識と経験・技術を十分発揮できる活力ある新しい高齢者像を目指して、健康づくりや生きがいづくりの施策を推進することが重要である。また、要介護状態にならない、悪化させない介護予防事業の重点化への転換が一層必要である。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- ・要支援・要介護状態にならないように介護予防事業を推進する。
 - ・住み慣れた自宅で安心して生活ができるよう、在宅生活支援を充実する。
 - ・引きこもりや寝たきり予防のために、生きがいづくりの促進を行う。
 - ・高齢者の生活における不安や悩みを解消し、生活機能の向上・維持を図るため、包括支援センターを充実させる。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|-------------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 生きがいを感じている高齢者の割合 | 80.7% | 85.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 高齢者福祉サービスが充実していると感じる市民の割合 | 24.9% | 35.0% | 市民意識調査から |
| 指標3 要介護認定率 | 14.8% | 14.0% | 要介護認定率から |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|-----|--|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | | |
| 成果指標 | 指標1 | 80.7% | 77.8% | 80.0% | 80.6% | 81.0% | 77.6% | 82.0% | | 83.0% | | 85.0% | | | |
| | 指標2 | 24.9% | 18.1% | 20.0% | 19.8% | 24.0% | 12.6% | 28.0% | | 32.0% | | 35.0% | | | |
| | 指標3 | 14.8% | 15.0% | 14.8% | 15.2% | 14.6% | 15.4% | 14.4% | | 14.2% | | 14.0% | | | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|-------------------------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|----|-----|----|-----|---|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | |
| 1 養護老人ホーム入所措置事業 | 高齢者支援課 | 26,987 | 33,560 | 25,928 | 32,994 | 19,213 | 24,921 | | | | | | |
| 2 太宰府市住みよか事業 | 高齢者支援課 | 635 | 2,121 | 1,205 | 2,121 | 3,349 | 3,361 | | | | | | |
| 3 老人福祉センター運営管理委託事業 | 高齢者支援課 | 13,048 | 12,980 | 13,320 | 14,869 | 14,399 | 14,530 | | | | | | |
| 4 外国人高齢者福祉手当支給事務 | 高齢者支援課 | 201 | 288 | 228 | 131 | 71 | 131 | | | | | | |
| 5 一次予防事業 | 高齢者支援課 | 17,628 | 21,294 | 14,687 | 21,211 | 16,002 | 19,285 | | | | | | |
| 6 二次予防事業 | 高齢者支援課 | 3,615 | 5,342 | 3,352 | 7,093 | 4,737 | 4,218 | | | | | | |
| 7 介護予防対策に関する調査研究事業 | 高齢者支援課 | 5,161 | 6,127 | 4,970 | 3,470 | 3,018 | 0 | | | | | | |
| 8 緊急通報装置給付事業 | 高齢者支援課 | 10,572 | 12,658 | 9,321 | 12,162 | 9,033 | 10,841 | | | | | | |
| 9 配食サービス事業 | 高齢者支援課 | 6,353 | 6,864 | 7,027 | 7,444 | 4,581 | 5,254 | | | | | | |
| 10 紙おむつ給付サービス事業 | 高齢者支援課 | 10,973 | 11,708 | 13,255 | 13,608 | 14,173 | 14,690 | | | | | | |
| 11 徘徊高齢者等家族支援サービス事業 | 高齢者支援課 | 938 | 1,085 | 1,048 | 1,079 | 856 | 876 | | | | | | |
| 12 老人憩いの場補助事業 | 高齢者支援課 | 1,013 | 4,658 | 4,685 | 4,685 | 71 | 4,071 | | | | | | |
| 13 シルバーいきいきサロン運営事業 | 高齢者支援課 | 502 | 570 | 570 | 570 | 357 | 357 | | | | | | |
| 14 ブラチナパソコン教室事業 | 高齢者支援課 | 1,905 | 1,968 | 1,968 | 1,968 | 1,161 | 1,201 | | | | | | |
| 15 敬老会運営事業 | 高齢者支援課 | 14,889 | 16,482 | 15,610 | 16,732 | 16,144 | 17,281 | | | | | | |
| 16 敬老祝金支給事業 | 高齢者支援課 | 3,876 | 4,982 | 4,487 | 5,494 | 4,659 | 5,117 | | | | | | |
| 17 老人クラブ連合会補助金支給事業 | 高齢者支援課 | 2,266 | 2,193 | 2,193 | 2,193 | 2,088 | 2,088 | | | | | | |
| 18 老人クラブ補助金支給事業 | 高齢者支援課 | 2,217 | 2,241 | 2,189 | 2,189 | 2,079 | 2,079 | | | | | | |
| 19 介護予防・生活支援活動団体補助金交付事業 | 高齢者支援課 | 4,357 | 6,355 | 5,433 | 6,665 | 4,850 | 5,660 | | | | | | |
| 20 シルバー人材センター補助金拠出事務 | 福祉課 | 11,910 | 16,390 | 16,390 | 16,390 | 16,390 | 14,450 | | | | | | |
| 21 成年後見制度利用支援事業 | 高齢者支援課 | 1,585 | 2,637 | 1,585 | 2,630 | 1,683 | 2,757 | | | | | | |
| 22 虐待等困難ケース対応 | 高齢者支援課 | 6,033 | 5,067 | 4,936 | 3,453 | 3,241 | 3,241 | | | | | | |
| 23 包括的支援事業 | 高齢者支援課 | 60,794 | 64,326 | 56,263 | 62,016 | 55,626 | 61,411 | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 207,458 | 241,896 | 210,650 | 241,167 | 197,781 | 217,820 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- 介護予防事業として実施している「筋力アップ教室」が好評であるため、実施回数を月3回から月4回に増やすと共に、新たに「健康リズム教室」を実施し、介護予防教室の参加者を増やすことができた。また、地域での介護予防・生活支援活動団体も増加した。このような介護予防事業関係が効果を上げ、認定者数の急激な上昇を抑えることが出来ていると考えられる。その他、団塊世代の高齢化もあって深刻な高齢化率の上昇の中で、各種在宅福祉サービスについては継続して事業を行うことができた。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- 要介護状態にならない、悪化させない介護予防事業の更なる充実が課題である。また、今後、認知症高齢者の増加が見込まれる中で、認知症対策は高齢者施策における重要な課題の一つである。そのため、認知症の啓発活動をはじめ、早期発見・早期対応に向けた医療体制の充実を図ると共に、認知症の人や家族を地域で支える体制づくりを進めなければならない。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- 要支援・要介護状態にならないように、一次予防事業では「筋力アップ教室」の実施回数を増やすと共に、24年度に実施した二次予防事業の対象者調査で要介護状態となるおそれが高い高齢者に対して訪問介護予防事業を展開していく。また、認知症家族支援事業として、認知症サポーター養成講座の開催や筑紫医師会との共同事業として「ものわずれ相談医」を推進していく。その他、夜間・休日電話相談事業を開始し、総合相談事業の充実を図っていく。

部長確認欄

| | | | |
|---------------------------------------|---|-------|-----------------------------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 記入日 | 8 月 1 日 |
| 元気な高齢者づくり事業を充実することにより、介護保険制度の安定運営を図る。 | 健康づくり、生きがいづくりなどの視点を含めて、より多くの高齢者が参加、集える事業と高齢者のみの世帯への相談、見守りなど地域での支援体制づくりが重要である。 | 所属部長名 | 3 健康福祉部長 中島 俊二 内線 327 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|-----------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 6 日 |
| 施策名 | 03 障がい福祉の推進 | 施策コード | 1 - 03 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 8 健康福祉部福祉課 |
| 目標 | 1 健やかでやすらぎのある福祉のまちづくり | 統括課長名 | 阿部 宏亮 内線 322 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- ・障害者自立支援法に基づく障がい福祉サービス等を充実させ、地域で暮らせるよう福祉支援体制をつくり、地域で支え合う福祉のシステムをつくる。
 - ・国の新たな総合的な制度「障害者総合福祉法」への円滑な移行。
 - ・就学前の発達障がい児等の早期発見、早期療育が出来る支援が必要である。
 - ・公共施設(道路・施設・駅等)のバリアフリー化が進んでいないため、計画的に総合的な事業の展開を行う必要がある。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- ・障害者自立支援法に基づく障がい福祉サービス等をさらに充実させる。
 - ・障がい者の要望等など財政状況等により実施している。
 - ・重度障害者医療証の交付、年度更新(所得審査)及び医療費の給付(受付・審査・支払い)
 - ・道路の段差解消や点字ブロック、またオストメイト対応トイレの設置、駅ホームの車椅子対応スロープなど局所的なバリアフリー化を進めている。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|-------------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 障がい福祉サービスが充実していると感じる市民の割合 | 23.5% | 33.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 | | | |
| 指標3 | | | |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|-----|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 23.5% | 35.9% | 25.0% | 36.1% | 27.0% | 33.3% | 29.0% | | 31.0% | | 33.0% | | | |
| | 指標2 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 指標3 | | | | | | | | | | | | | | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------------------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 コミュニケーション支援事業 | 福祉課 | 1,771 | 1,900 | 1,815 | 1,922 | 1,800 | 1,851 | | | | | | |
| 2 日常生活用具給付等事業 | 福祉課 | 13,348 | 14,284 | 13,439 | 16,444 | 12,547 | 13,203 | | | | | | |
| 3 移動支援事業 | 福祉課 | 18,738 | 21,484 | 21,156 | 21,484 | 18,119 | 21,484 | | | | | | |
| 4 重度障がい者医療費支給事業 | 国保年金課 | 164,168 | 177,865 | 147,084 | 172,755 | 145,601 | 162,185 | | | | | | |
| 5 その他支援事業 | 福祉課 | 4,889 | 7,200 | 5,831 | 6,763 | 5,883 | 5,242 | | | | | | |
| 6 介護・訓練等給付事業 | 福祉課 | 425,442 | 433,449 | 454,008 | 466,442 | 537,467 | 465,338 | | | | | | |
| 7 特別障がい者手当等給付事業 | 福祉課 | 16,562 | 17,540 | 17,423 | 38,540 | 40,918 | 41,665 | | | | | | |
| 8 福祉タクシー助成事業 | 福祉課 | 7,894 | 8,282 | 7,919 | 10,082 | 8,348 | 10,082 | | | | | | |
| 9 障がい者補装具交付事業 | 福祉課 | 8,174 | 10,412 | 10,366 | 12,652 | 9,900 | 12,652 | | | | | | |
| 10 住みよか事業 | 福祉課 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | | | | |
| 11 心身障がい者扶養共済事業 | 福祉課 | 1,232 | 1,264 | 1,044 | 1,264 | 1,188 | 1,247 | | | | | | |
| 12 難病患者在宅福祉事業 | 福祉課 | 0 | 400 | 0 | 400 | 0 | 0 | | | | | | |
| 13 腎臓疾患患者福祉給付事業 | 福祉課 | 64 | 64 | 64 | 64 | 64 | 64 | | | | | | |
| 14 障がい者程度区分等審査会事業 | 福祉課 | 4,716 | 4,718 | 4,565 | 4,767 | 4,502 | 5,945 | | | | | | |
| 15 障がい者程度区分等認定調査員事業 | 福祉課 | 4,759 | 5,171 | 4,402 | 5,688 | 4,685 | 4,880 | | | | | | |
| 16 自立支援医療(更生医療)給付事業 | 福祉課 | 66,994 | 62,621 | 64,235 | 72,646 | 71,440 | 75,623 | | | | | | |
| 17 精神障がい者保健福祉手帳及び通院医療費公費負担事務 | 福祉課 | 2,018 | 2,018 | 2,018 | 2,018 | 2,018 | 2,018 | | | | | | |
| 18 太宰府市身体障がい者福祉協会助成事業 | 福祉課 | 1,291 | 841 | 841 | 841 | 841 | 841 | | | | | | |
| 19 身体障害者手帳受付交付事務 | 福祉課 | 2,833 | 2,833 | 2,833 | 2,833 | 2,833 | 2,833 | | | | | | |
| 20 療育手帳受付交付事務 | 福祉課 | 576 | 576 | 576 | 576 | 576 | 576 | | | | | | |
| 21 障がい者緊急通報装置給付事業 | 福祉課 | 273 | 298 | 271 | 298 | 244 | 292 | | | | | | |
| 22 障がい児通所支援事業 | 福祉課 | | | | 44,440 | 33,443 | 60,551 | | | | | | |
| 23 地域活動支援センター事業 | 福祉課 | 0 | 1,500 | 1,500 | 1,520 | 1,520 | 2,970 | | | | | | |
| 24 身体障がい者相談員設置事業 | 福祉課 | 82 | 82 | 82 | 82 | 82 | 82 | | | | | | |
| 25 知的障がい者相談員設置事業 | 福祉課 | 82 | 82 | 82 | 82 | 82 | 82 | | | | | | |
| 26 身体障がい者巡回相談事業 | 福祉課 | 25 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | | | | | | |
| 27 相談支援事業 | 福祉課 | 2,396 | 2,396 | 2,396 | 2,396 | 2,396 | 2,396 | | | | | | |
| 28 障がい者施策推進事務 | 福祉課 | 1,305 | 4,925 | 5,210 | 2,197 | 1,631 | 1,544 | | | | | | |
| 29 療育事業 | 福祉課 | 0 | 12,675 | 3,701 | 17,166 | 10,135 | 18,823 | | | | | | |
| 30 障がい者成年後見制度利用支援事業 | 福祉課 | 2 | 472 | 2 | 1,103 | 2 | 594 | | | | | | |
| 31 バリアフリー推進事業 | 福祉課 | 136 | 1,249 | 533 | 629 | 1,209 | 0 | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 749,772 | 796,623 | 773,418 | 908,116 | 919,496 | 915,085 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- 障がい者団体と連携し、バリアフリーマップを作成することができた。視覚障がい者への文書情報を伝えるための「音声コード」の導入研修会を実施した。市道拡幅に伴う点字ブロック設置にあたり、視かく障がい者の協力を得て設置することができた。太宰府特別支援学校放課後等支援事業として「つくしんぼルーム」を開設した。療育事業について、療育相談室(きらきらルーム)を開設した。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」が、本年6月27日に公布され、平成25年4月1日(一部は、平成26年4月1日)に施行されることから、制度に則した対応を行う必要がある。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- 「障害者自立支援法」から「障害者総合支援法」への移行により更なる障がい福祉の推進に取り組んでいく。障がい福祉計画に沿って障がい福祉サービスの将来像である「みんなで支え合い 共に幸せに暮らせる 人権と福祉のまちづくり」を推進していく。「療育相談室」の利用者増を見据えた、体制の強化充実に取り組んでいく。

部長確認欄

| | | | |
|---|---|-------|-----------------------------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 記入日 | 8月6日 |
| 障がい者(児)が日常生活又は社会生活を営むための支援は、基本的な人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであることを念頭に、施策を推進していくことが重要である。 | 法改正に伴う国の通知等を的確に把握するとともに、障がい福祉サービスの充実を図る必要がある。 | 所属部長名 | 3 健康福祉部長 中島 俊二 内線 327 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------------|-----------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 6 日 |
| 施策名 | 04 地域福祉の推進 | 施策コード | 1 - 04 |
| 第五次総合計画 目標 | 1 健やかでやすらぎのある福祉のまちづくり | 施策統括課 | 8 健康福祉部福祉課 |
| | | 統括課長名 | 阿部 宏亮 内線 322 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- ・地域福祉の最前線を担う民生委員・児童委員への活動支援と自治会及び社会福祉協議会、行政等の連携による地域住民へのサポートシステムづくりが必要である。
 - ・災害時等の要援護者への避難支援体制として、行政、関係機関、団体、地域住民(自治会等)のネットワークなどのシステムづくりが必要である。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- ・社会福祉協議会は地域の福祉課題に取り組み、地域で安心して生活できる地域福祉を目指し、住民福祉活動や社会福祉事業などを実施している。
 - ・民生委員・児童委員は地域で課題を抱える要援助者等を発見し自立した生活ができるよう相談やサービスなど必要な支援を行っている。
 - ・第二次地域福祉計画の基本理念のもと支え合いの地域づくり、自立した生活を支援するしくみづくり、安全で安心できるまちづくり、地域福祉を推進するしくみづくりの4つの目標を柱に各事業を進めている。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|--------------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 地域の福祉活動が活発に行われていると感じる市民の割合 | 29.6% | 50.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 | 0 | 0.0% | 0 |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標1 | 指標2 | 指標3 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|-----|--|
| | | | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | | |
| | | | | 29.6% | 34.7% | 34.0% | 33.7% | 38.0% | 35.8% | 42.0% | | 46.0% | | 50.0% | | | |

(2) 構成事務事業

| 事務事業名 | (単位:千円) | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------------|---------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|----|-----|----|-----|--|
| | | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | |
| 1 総合福祉センター運営補助金拠出事務 | | 福祉課 | 8,027 | 8,027 | 8,027 | 8,027 | 8,027 | 8,027 | 8,027 | | | | | |
| 2 社会福祉協議会運営費補助金拠出事務 | | 福祉課 | 68,326 | 68,159 | 68,159 | 70,159 | 70,159 | 69,933 | | | | | | |
| 3 民生委員児童委員活動支援事業 | | 福祉課 | 7,891 | 8,587 | 8,387 | 8,587 | 8,311 | 8,937 | | | | | | |
| 4 国民生活基礎調査事務 | | 福祉課 | 242 | 152 | 52 | 152 | 110 | 152 | | | | | | |
| 5 地域福祉基金事業 | | 福祉課 | 100,047 | 100,047 | 100,047 | 100,047 | 150,047 | 47 | | | | | | |
| 6 福祉事務所事務関係事業 | | 福祉課 | 1,613 | 1,664 | 1,602 | 1,748 | 1,688 | 1,746 | | | | | | |
| 7 保護司活動支援事業 | | 福祉課 | 750 | 747 | 744 | 749 | 749 | 749 | | | | | | |
| 8 地域福祉計画策定事務 | | 福祉課 | 2,493 | 2,682 | 2,581 | 669 | 484 | 669 | | | | | | |
| 9 生活支援給付費支給事務 | | 福祉課 | 2,790 | 6,114 | 3,575 | 5,133 | 3,667 | 5,137 | | | | | | |
| 10 忠霊塔樹木維持管理業務 | | 福祉課 | 0 | 200 | 200 | 300 | 411 | 300 | | | | | | |
| 11 遺族会補助金拠出事務 | | 福祉課 | 810 | 810 | 810 | 810 | 810 | 810 | | | | | | |
| 12 筑紫原爆被害者の会補助金拠出事務 | | 福祉課 | 345 | 352 | 352 | 336 | 336 | 333 | | | | | | |
| 13 援護事務 | | 福祉課 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | | | | | | |
| 14 災害見舞金給付事業 | | 福祉課 | 80 | 130 | 50 | 130 | 80 | 130 | | | | | | |
| 15 災害援護資金貸付事業 | | 福祉課 | 3,538 | 3,528 | 3,342 | 3,523 | 3,269 | 3,459 | | | | | | |
| 16 避難所開設及び支援物資支給事業 | | 福祉課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | |
| 17 九州労働金庫預託金事務 | | 福祉課 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | | | | | | |
| 18 筑紫地区労働者福祉協議会補助金拠出事務 | | 福祉課 | 387 | 387 | 387 | 353 | 353 | 322 | | | | | | |
| 19 若年者専修学校等技能習得資金関係事務 | | 教務課 | 2,449 | 3,338 | 2,417 | 3,338 | 2,157 | 3,078 | | | | | | |
| 20 地域活性化拠点づくり事業 | | 福祉課 | 14,519 | 16,137 | 16,137 | 3,978 | 3,978 | 13,842 | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | | 224,317 | 231,071 | 226,879 | 218,049 | 264,646 | 127,681 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- 施策成果指標は、昨年度の減少もあって、目標値までは到達しなかったものの前年度比較では、数値が増加した。社会福祉協議会において「第二次地域福祉活動計画」が策定された。23年度策定の第2次太宰府市地域福祉計画に沿い、各課の関連事業を推進することができた。自治会、民生委員の協力のもと災害時等要援護者の台帳登録への申請を進めることができた。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- 民生委員・児童委員の体制を見直すとともに活動支援や社会福祉協議会が取り組んでいる住民福祉活動や社会福祉事業をより効果的に継続して支援していく必要がある。災害時等要援護者に対する台帳登録と避難支援者の確保に伴う関係者への情報の共有化を更に図っていく必要がある。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- 社会福祉協議会における第二次地域福祉活動計画の推進のための行政、関係機関・団体等との連携強化。災害時等要援護者の台帳登録を更に進めるとともに避難支援者確保のため、自治会、民生委員児童委員、社会福祉協議会等と連携を図り、個別支援計画の作成へとつなげていく。

部長確認欄

| | | | |
|--|---|-------|-----------------------------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 記入日 | 8 月 8 日 |
| 「第二次太宰府市地域福祉計画」に基づき、「地域福祉の推進」に取り組んでいく。 | 災害時等要援護者台帳の登録、支援者の確保について、関係機関等と連携を取りながら推進していく必要がある。 | 所属部長名 | 3 健康福祉部長 中島 俊二 内線 327 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|-----------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 05 生涯健康づくりの推進 | 施策コード | 1 - 05 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 11 健康福祉部保健センター |
| 目標 | 1 健やかでやすらぎのある福祉のまちづくり | 統括課長名 | 井浦 真須己 内線 687 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

生活習慣病の改善が不十分であったり、慢性疾患の増加などによる疾病構造の変化に伴い、健康寿命の延伸のための生涯を通じた健康づくりが課題となっている。母子保健においては、社会環境の変化により妊娠、出産、育児などにおいてさまざまな問題が発生し、多様なニーズに対応できる保健、福祉などの支援が求められている。これらの、様々な課題やニーズに対応するためには、市民への健康支援や地域の主体的な健康活動ができる環境づくりが必要である。そのためにも、新たな保健計画の策定が必要である。

(2) 主な事務事業・取り組み

- ・市民の健康状態の把握し、健康増進を図るため、各種健(検)診を行う。
- ・市民の疾病予防のため、予防接種を行う。
- ・市民の健康意識を高めるため、様々な健康教育等を行う。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|-----------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 健康状態が良好な市民の割合 | 77.0% | 80.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 健康増進に取り組んでいる市民の割合 | 53.5% | 60.0% | 市民意識調査から |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 77.0% | 79.4% | 78.0% | 80.3% | 78.5% | 80.3% | 79.0% | | 79.5% | | 80.0% | |
| | 指標2 | 53.5% | 54.2% | 54.0% | 56.1% | 54.5% | 53.0% | 55.0% | | 55.5% | | 60.0% | |
| | 指標3 | | | | | | | | | | | | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 献血推進事業 | 保健センター | 803 | 803 | 780 | 780 | 686 | 1,065 | | | | | |
| 2 歩こう会運営事業 | 保健センター | 803 | 833 | 780 | 720 | 1,590 | 995 | | | | | |
| 3 成人健康診査事業 | 保健センター | 39,975 | 51,328 | 40,429 | 51,325 | 39,369 | 52,960 | | | | | |
| 4 保育所栄養指導事業 | 保健センター | 1,558 | 1,563 | 2,114 | 2,121 | 4,175 | 3,191 | | | | | |
| 5 成人健康教育相談事業 | 保健センター | 20,354 | 20,199 | 19,568 | 20,327 | 14,477 | 11,289 | | | | | |
| 6 精神保健事業 | 保健センター | 5,155 | 4,316 | 4,218 | 4,292 | 4,275 | 5,149 | | | | | |
| 7 自殺予防対策事業 | 保健センター | 1,010 | 2,023 | 1,957 | 1,018 | 2,733 | 2,575 | | | | | |
| 8 予防接種事業 | 保健センター | 114,429 | 228,712 | 218,098 | 192,606 | 204,717 | 209,263 | | | | | |
| 9 母子健康診査事業 | 保健センター | 94,481 | 108,168 | 89,983 | 98,840 | 88,704 | 88,104 | | | | | |
| 10 母子健康教育相談事業 | 保健センター | 20,035 | 20,566 | 20,979 | 20,564 | 17,475 | 16,240 | | | | | |
| 11 健康づくり推進事業 | 保健センター | 2,101 | 2,152 | 2,151 | 2,202 | 3,193 | 4,363 | | | | | |
| 12 地域健康づくり推進事業 | 保健センター | 3,708 | 4,319 | 3,896 | 4,119 | 3,934 | 4,255 | | | | | |
| 13 健康推進員学習会事業 | 保健センター | 6,347 | 6,826 | 6,369 | 6,560 | 4,084 | 5,285 | | | | | |
| 14 食生活改善事業 | 保健センター | 4,367 | 4,442 | 4,367 | 4,431 | 4,215 | 3,328 | | | | | |
| 15 保健センター管理事業 | 保健センター | 91,974 | 96,724 | 93,138 | 105,650 | 98,129 | 113,585 | | | | | |
| 16 保健計画策定事業 | 保健センター | 0 | 2,101 | 2,101 | 0 | 0 | 4,142 | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 407,100 | 555,075 | 510,928 | 515,555 | 491,756 | 525,789 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- ・地域への健康づくりの啓発事業として実施している「地域健康づくり推進事業」の実施校区を4校区から5校区へ広げることができた。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- ・疾病構造や社会環境の変化により、新たな課題やニーズが発生している。それらを分析し明らかにし、課題解決のための業務改善に取り組みなければならない。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- ・市民の多様なニーズ対応し、新たな課題を解決するため、国、県の新たな健康増進計画に沿った、「太宰府市健康増進計画」を策定する。
 - ・市民ニーズや健康課題を明らかにするとともに、業務改善の取り組み、市民が健やかで心豊かに生活できる活力ある地域社会の実現を図る。

| 部長確認欄 | | 記入日 | 8 月 10 日 |
|---|--------------------------|-----------------------------|----------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 市民への健康支援や地域の主体的な健康活動は、本市の健康づくりの重要なテーマである。 | 業務改善や健康増進計画は策定は必要な事業である。 | 3 健康福祉部長 中島 俊二 内線 327 | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|-----------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 06 社会保障の適正な運営 | 施策コード | 1 - 06 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 12 健康福祉部国保年金課 |
| 目標 | 1 健やかでやすらぎのある福祉のまちづくり | 統括課長名 | 永田 宰 内線 310 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

- ・国民健康保険制度は、高齢者や非正規労働者の加入増加、また、医療費の増高等の構造的課題により財政が逼迫している。
- ・後期高齢者医療は、医療ニーズの高い高齢者の増加に伴う医療費の増高により、一般会計からの財政負担が増加している。
- ・介護保険制度は、制度への理解が定着してきたことで介護を必要とする要介護・要支援認定者の数が年々増加している。これにともない、介護給付費も急激に増加し、結果として被保険者が支払う介護保険料の高騰に繋がるという新たな課題が生まれている。
- ・被保護世帯数の増加に伴い、財政負担が増加しており、生活保護からの脱却に向けた自立就労支援の取り組みが課題である。

(2) 主な事務事業・取り組み

- ・国民健康保険事業の安定的・持続的な運営を行うため、適正な補助金申請を行うと共に国の財政支援拡充の要望を継続して行う。
- ・後期高齢者医療被保険者に係る保険証の交付、医療給付の申請受付及び賦課を適切に行い、保険料については徴収率向上を図る。
- ・介護保険に関する情報を積極的に提供し、公正公平な要介護認定を行い、適正な介護給付事業を行う。
- ・就労支援員を配置し、自立支援プログラムの充実強化を図る。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|-------------------|------------|------------|-----------------|
| 指標1 特定健康診査受診率 | 23.0% | 65.0% | 国の指標：H24年度(65%) |
| 指標2 生活保護者の自立支援達成率 | 0.0% | 10.0% | |
| 指標3 | | | |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|----|-------|----|-------|----|-----|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| | 指標1 | 23.0% | 23.4% | 30.0% | 26.6% | 35.0% | 未確定 | 40.0% | | 45.0% | | 65.0% | | | |
| | 指標2 | 0.0% | 0.0% | 3.0% | 4.1% | 4.0% | 4.3% | 6.0% | | 8.0% | | 10.0% | | | |
| | 指標3 | | | | | | | | | | | | | | |

(2) 構成事務事業

(単位：千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|-------------------|--------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 国民健康保険運営事業 | 国保年金課 | 1,110,427 | 7,397,755 | 7,298,562 | 8,036,854 | 7,694,253 | 8,141,930 | | | | | | |
| 2 医療費適正化・健康管理普及事業 | 国保年金課 | 14,167 | 17,879 | 16,584 | 18,895 | 16,418 | 16,705 | | | | | | |
| 3 国民健康保険税賦課事務 | 国保年金課 | 22,561 | 21,780 | 21,059 | 22,913 | 18,472 | 20,364 | | | | | | |
| 4 特定健康診査・特定保健指導事業 | 国保年金課 | 53,277 | 68,874 | 43,899 | 70,159 | 52,745 | 79,684 | | | | | | |
| 5 後期高齢者医療保険事務 | 国保年金課 | 671,185 | 729,269 | 734,524 | 768,359 | 733,121 | 774,305 | | | | | | |
| 6 国民年金事務事業 | 国保年金課 | 15,117 | 27,156 | 17,416 | 27,760 | 21,683 | 26,694 | | | | | | |
| 7 介護保険事業運営事業 | 高齢者支援課 | 3,639,347 | 3,958,209 | 3,866,318 | 4,104,618 | 4,048,408 | 4,263,464 | | | | | | |
| 8 サービス利用者負担額助成事業 | 高齢者支援課 | 2 | 143 | 9 | 89 | 10 | 40 | | | | | | |
| 9 介護保険事業特別会計繰出金 | 高齢者支援課 | 581,180 | 627,291 | 598,895 | 647,786 | 624,313 | 673,670 | | | | | | |
| 10 生活保護事業 | 福祉課 | 1,107,245 | 2,011,897 | 1,168,286 | 1,283,330 | 1,252,269 | 1,346,835 | | | | | | |
| 11 行旅死亡人取扱事務 | 福祉課 | 1,815 | 1,822 | 1,813 | 1,822 | 1,814 | 1,822 | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 7,216,323 | 14,862,075 | 13,767,365 | 14,982,585 | 14,463,506 | 15,345,513 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

- ・国民健康保険運営事業における特定健康診査受診率については、未受診者への受診勧奨通知を2回行ったことなどにより、23年度から0.7ポイント伸び、27.3% (実績報告値)となった。また、ジェネリック医薬品(後発医薬品)の普及促進による医療費削減を図るため、普及促進通知サービス(差額通知)を継続することで、調剤費の削減効果が出ている。
- ・介護保険事業においては、第5期介護保険事業計画での給付費見込みに近い数値での決算となり、安定した事業を行うことができた。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

- ・国民健康保険運営事業における赤字の解消。(国レベルでの市町村国保財政に係る構造的課題の解消を含む)
- ・特定健康診査の受診率向上に向けた更なる取り組み。
- ・介護保険事業においては、平成24年度からの第5期介護保険事業計画に基づき適正な介護保険制度の運営。
- ・就労可能な被保護者への更なる就労支援の取り組み。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)

- ・国民皆保険としての市町村国保の安定的・持続的な運営を行うために、国による構造的課題の解消及び財政支援の拡充は不可欠ことから、国における社会保障制度改革の動向を十分注視しながら、現行制度の中で、適正な運営に努める。
- ・介護保険事業においては、給付費のケアプランチェックなどの適正化事業を行い、介護保険事業の適正な運営に努める。
- ・就労可能な被保護者への就労支援の取り組みを継続していく。

部長確認欄

| | | | |
|---|--|-------|-----------------------------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 記入日 | 8 月 9 日 |
| 医療、介護共に高齢化の進行に伴い、給付費が増加していく中で、予防、健康づくり等の事業を充実することで、給付費の抑制を図る。 | 国の制度や主に依存財源で運営を行う制度となっているので、国の制度改革の動向を注視し、国保財政の健全化に及ぼす影響などを把握していく。 | 所属部長名 | 3 健康福祉部長 中島 俊二 内線 327 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|--------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 07 防災・消防体制の整備充実 | 施策コード | 2 - 07 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 3 総務部協働のまち推進課 |
| 目標 | 2 安全で安心して暮らせるまちづくり | 統括課長名 | 藤田 彰 内線 540 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

東日本大震災や集中豪雨、竜巻等、予期できない災害に対処するため、本市の防災活動の根源となる地域防災計画の全面的見直しが必要となっている。また市民に自助・共助の必要性を認識してもらうために今後は、自主防災組織の育成と併せて、地域と連携した訓練等の取り組みや消防体制の整備が必要である。

(2) 主な事務事業・取り組み

地域防災計画の全面的見直しを行う。
 防災講話の実施と自主防災組織の育成。
 地域の消防力の維持。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|-----------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 自主防災組織数 | 11区自治会 | 44区自治会 | |
| 指標2 火災発生件数 | 21件 | 10件 | |
| 指標3 日頃から災害に備えている市民の割合 | 47.4% | 60.0% | 市民意識調査から |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|----|-----|-------|-------|----|-------|--------|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 指標1 | 11区自治会 | 11区自治会 | 12区自治会 | 24区自治会 | 24区自治会 | 24区自治会 | 24区自治会 | 30自治会 | | | | 35自治会 | | | 44区自治会 |
| | 21件 | 25件 | 11件 | 11件 | 11件 | 12件 | 11件 | | | | 10件 | | | 10件 | |
| | 47.4% | 40.7% | 39.7% | 39.7% | 45.0% | 42.4% | 50.0% | | | | 55.0% | | | 60.0% | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|--------------------|----------|---------|---------|---------|----|---------|---------|---------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 地域防災計画策定事業 | 協働のまち推進課 | 3,793 | 4,508 | 3,855 | | 4,316 | 15,225 | 24,360 | | | | | |
| 2 指定危険箇所事業 | 協働のまち推進課 | 3,084 | 2,380 | 2,379 | | 2,380 | 1,339 | 1,338 | | | | | |
| 3 危機管理体制事業 | 協働のまち推進課 | 2,065 | 1,976 | 2,069 | | 4,621 | 3,446 | 908 | | | | | |
| 4 防災訓練事業 | 協働のまち推進課 | 6,318 | 1,395 | 5,317 | | 1,538 | 2,907 | 1,410 | | | | | |
| 5 治山事業 | 商工農政課 | 2,260 | 2,260 | 2,260 | | 2,260 | 1,298 | 1,298 | | | | | |
| 6 県河川協会負担金 | 建設課 | 272 | 1,036 | 278 | | 459 | 507 | 749 | | | | | |
| 7 県砂防協会負担金 | 建設課 | 375 | 1,290 | 228 | | 259 | 471 | 549 | | | | | |
| 8 御笠川改修事業促進協議会参画事業 | 建設課 | 241 | 261 | 209 | | 259 | 499 | 549 | | | | | |
| 9 県砂防事業地元負担金 | 建設課 | 0 | 0 | 0 | | 327 | 327 | 327 | | | | | |
| 10 防災情報・通信システム事業 | 協働のまち推進課 | 5,253 | 15,258 | 12,705 | | 13,317 | 17,816 | 9,575 | | | | | |
| 11 国民保護法に関する事務 | 協働のまち推進課 | 9,993 | 1,629 | 1,593 | | 1,629 | 551 | 2,407 | | | | | |
| 12 筑紫野太宰府消防組合事業 | 協働のまち推進課 | 634,723 | 604,918 | 598,007 | | 629,921 | 596,190 | 715,928 | | | | | |
| 13 消防施設整備事業 | 協働のまち推進課 | 6,112 | 5,641 | 3,777 | | 4,223 | 11,116 | 31,524 | | | | | |
| 14 消防団運営事業 | 協働のまち推進課 | 32,221 | 39,218 | 44,587 | | 32,938 | 35,737 | 41,316 | | | | | |
| 15 消防車両整備事業 | 協働のまち推進課 | 4,261 | 4,352 | 4,362 | | 4,333 | 4,352 | 4,780 | | | | | |
| 16 消防協会事業 | 協働のまち推進課 | 1,230 | 1,455 | 1,458 | | 1,239 | 1,341 | 1,553 | | | | | |
| 17 救急医療体制整備事業 | 保健センター | 16,988 | 19,433 | 17,086 | | 17,299 | 16,169 | 16,436 | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 729,189 | 707,010 | 700,170 | | 721,318 | 709,291 | 855,007 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

平成21年度から採用している防災専門官による防災講話の実施や、自治会長との協働による自主防災組織の育成が図られてきている。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

平成17年度以降微修正であった地域防災計画の全面的見直しについて平成25年度末策定を目指し取り組んでいる。
 防災講話の充実と自主防災組織の更なる組織化と育成を図る。
 地域の消防力を維持・向上を図る。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)

筑紫野・太宰府消防本部の庁舎新築工事に伴い消防無線がデジタル化されるため、早期に消防団車両等のデジタル化を進める。

| 部長確認欄 | | 記入日 | 月 | 日 |
|------------------------------------|------------------------------------|---------------|---|---|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | | |
| 地域防災計画の見直しは、自治会長と直結した取り組みとする必要がある。 | 自主防災組織の育成に当たっては自助、共助の役割を明確ににして進める。 | 1 | | |
| | | 総務部長 三笠 哲生 | | |
| | | 内線 546 | | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|--------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 08 防犯・暴力追放運動の推進 | 施策コード | 2 - 08 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 3 総務部協働のまち推進課 |
| 目標 | 2 安全で安心して暮らせるまちづくり | 統括課長名 | 藤田 彰 内線 540 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- 地域の安全を守るため、警察・消防・住民と連携を行い地域の防犯意識の高揚を図るとともに、暴力追放に取り組む必要がある。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- 地域全体の防犯意識を高める取り組みとして、地域防犯パトロールや防犯専門官による見回りや講話等を行っている。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|--------------|------------|------------|----|
| 指標1 刑法犯認知件数 | 1,164件 | 800件 | |
| 指標2 街頭犯罪発生件数 | 728件 | 500件 | |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標名 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|--------|------|------|------|------|------|------|----|------|----|------|----|-----|--|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | | |
| | 指標1 | 1,164件 | 949件 | 837件 | 837件 | 830件 | 772件 | 825件 | | 810件 | | 800件 | | | |
| | 指標2 | 728件 | 505件 | 435件 | 435件 | 505件 | 403件 | 502件 | | 500件 | | 500件 | | | |
| | 指標3 | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | | | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|----|-----|----|-----|--|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | | |
| 1 防犯対策事務 | 協働のまち推進課 | 9,311 | 9,312 | 9,310 | 9,354 | 12,274 | 8,545 | | | | | | |
| 2 市管理街灯事務 | 建設課 | 17,824 | 19,941 | 20,378 | 19,941 | 19,724 | 19,402 | | | | | | |
| 3 行政区(防犯灯)補助事務 | 建設課 | 26,812 | 28,391 | 27,617 | 28,904 | 28,685 | 27,868 | | | | | | |
| 4 暴力追放推進運動事務 | 協働のまち推進課 | 1,331 | 1,331 | 1,331 | 1,331 | 1,079 | 1,079 | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 55,278 | 58,975 | 58,636 | 59,530 | 61,762 | 56,894 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- 防犯専門官によるパトロールや、地域の見守り活動やパトロールによって市内の犯罪件数は減少傾向にある。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- 区自治会や、各校区自治協議会の防犯防災部会の更なる充実を図るとともに、安心安全のまちづくりを実現するために、行政、市民が一体となった活動を今後も継続していかなくてはならない。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- 部会等の充実発展と、人材の登用、確保のための取り組みを継続しなければならない。

| 部長確認欄 | | 記入日 | 月 | 日 |
|--|--|-------------------------|---|---|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | | |
| 安全安心な地域づくりを進めるため、市民、自治会等との連携強化が不可欠である。 | 行政、市民、自治会等が目的に向かって一体となって活動できる体制の更なる強化を図る必要がある。 | 1 | | |
| | | 総務部長 三笠 哲生 内線 546 | | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|--------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 09 交通安全対策の推進 | 施策コード | 2 - 09 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 3 総務部協働のまち推進課 |
| 目標 | 2 安全で安心して暮らせるまちづくり | 統括課長名 | 藤田 彰 内線 540 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

交通事故発生件数も増加傾向にあり、飲酒運転をはじめ特に近年、高齢者の事故が増加している状況である。自転車においては無灯火運転や、携帯電話や小型音楽プレーヤーを聞きながらの運転が目につく現状である。

(2) 主な事務事業・取り組み

主に小学生を対象とした交通安全教室の実施
自転車無灯火等、街頭啓発活動
市内高校を対象とした自転車安全運転指導を実施(太宰府高等学校)

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|---------------------|------------|------------|----|
| 指標1 交通事故発生件数(うち高齢者) | 675件(128件) | 500件(100件) | |
| 指標2 | 0 | 0.0% | 0 |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----------------|------------|------|------|------|------|------|------|----|------|----|------------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 指標1 | 交通事故発生件数(うち高齢者) | 675件(128件) | 653件 | 566件 | 566件 | 540件 | 606件 | 530件 | | 515件 | | 500件(100件) | |
| 指標2 | | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | |
| 指標3 | | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名(優先15件まで) | 所管課 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 交通安全対策啓発事業 | 協働のまち推進課 | 4,323 | 4,330 | 4,290 | 4,372 | 6,733 | 5,847 | | | | | |
| 2 交通安全施設整備事業 | 建設課 | 21,177 | 24,243 | 27,647 | 28,149 | 28,426 | 27,488 | | | | | |
| 3 街路灯整備事業 | 建設課 | 3,118 | 4,656 | 4,525 | 5,267 | 7,866 | 7,416 | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 28,618 | 33,229 | 36,462 | 37,788 | 43,025 | 40,751 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

小学1年、4年生を対象とした交通安全教室は、学校の協力もあり着実に実を結びつつあるが、高校生や社会人の交通マナーの悪さが目につく。
また、高齢者の交通事故や、大人の飲酒運転などが一向に減少しない。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

(1)高齢者の交通事故の減少
(2)飲酒運転の減少

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)

各自治会や地域の見守り隊が登下校時の児童生徒の見守りを行っているが、この活動が全市に広がるよう啓発を行って行くとともに、行政側の支援体制の充実を図っていく必要がある。

| 部長確認欄 | | 記入日 | 月 | 日 |
|--|---------------------------------------|-----------------|---|---|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | | |
| 高齢者や若者の事故が増加傾向にあり、更なる交通安全の啓発を行っていく必要がある。 | 県を挙げて飲酒運転撲滅運動を展開しており、本市としても運動を推進していく。 | 1 総務部長 三笠 哲生 | | |
| | | 内線 546 | | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|--------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 8 日 |
| 施策名 | 10 安全な消費生活の推進 | 施策コード | 2 - 10 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 5 総務部商工農政課 |
| 目標 | 2 安全で安心して暮らせるまちづくり | 統括課長名 | 大田 清蔵 内線 440 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

・消費者を不安に追い込む悪質な事件が今なお増加しており、近年は手口も多様巧妙化しているなか、被害の発生や拡大防止のために、相談及び啓発業務の充実を図っていく必要がある。

(2) 主な事務事業・取り組み

・「国民生活センター」「県消費者センター」などとの連携や消費生活相談業務の実施。また、担当職員や相談員に対して研修等により資質向上を図り、相談体制の充実を行う。
・被害の発生や拡大防止を図るため、出前講座の実施や街頭啓発など積極的な啓発活動を行う。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|--|------------|------------|----------|
| 指標1 この1年間に消費生活に関する不安を感じたりトラブルを受けた市民の割合 | 17.3% | 15.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 | 0 | 0.0% | 0 |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| | 指標1 | 17.3% | 14.2% | 16.6% | 17.2% | 16.2% | 15.6% | 15.8% | | 15.4% | | 15.0% | |
| | 指標2 | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | |
| | 指標3 | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | |

(2) 構成事務事業

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------|-------|-------|-------|-------|----|--------|--------|-------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 消費生活相談業務 | 商工農政課 | 4,489 | 4,539 | 4,522 | | 4,682 | 4,813 | 5,108 | | | | | |
| 2 消費者啓発事業 | 商工農政課 | 3,579 | 3,811 | 3,809 | | 5,780 | 5,834 | 3,628 | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 8,068 | 8,350 | 8,331 | | 10,462 | 10,647 | 8,736 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

・消費生活相談員を配置し週2日消費生活相談を行う、相談件数は231件となっており、うち解決件数は168件である。
・相談件数も年々増加しており確実に市民への周知が図られている。
・出前講座実施、啓発講演会開催、筑紫野警察署や福岡県とタイアップした街頭での啓発活動、消費者啓発カレンダーの全世帯配布や広報への啓発記事掲載などに取り組んだ。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

・次々と新たな悪質商法が発生しており、高齢者や若者等の市民への啓発などに更なる取り組みが必要である。
・相談員の相談技能の、より一層のレベルアップが必要である。
・消費生活相談窓口が週2日の開催で相談日数が少ないため、大宰府市民の方の福岡県消費生活センターでの相談件数が311件となっており、相談開催日の増が課題となっている。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)

・悪質商法被害防止のため、高齢者や若者等へより一層の啓発に取り組む。
・平成25年度から消費生活相談日を週3日として、関係機関との連携した相談窓口を進める。
・福岡県主催のレベルアップ研修や事例検討会へ参加し、相談員の相談技能のより一層のレベルアップを図る。

部長確認欄

| | | | |
|--|---|-------|-------------------------|
| | | 記入日 | 8 月 8 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 多様化する消費者問題には、防止するための役立つ情報の発信と相談体制の充実を図ることが重要である。 | 防止のための啓発や相談体制の強化充実を工夫しながら少しずつでも図っていく必要あり。 | 1 | 総務部長 三笠 哲生 内線 546 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 11 人権を尊重するまちづくりの推進 | 施策コード | 3 - 11 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 7 市民生活部人権政策課 |
| 目標 | 3 豊かな心を育みふれあいを大切にすまちづくり | 統括課長名 | 諫山 博美 内線 442 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項
 人権行政は[地対財特法]の失効で同和対策事業中心から、「人権教育・人権啓発推進法」に基づく教育と啓発を中心とした、あらゆる人権問題に対処するものへと変わった。本市では「人権尊重のまちづくり」を総合行政として全庁的に推進している。今後は、市民との協働により進めていく必要がある。
 また、後を絶たない部落差別事象の根絶と地区住民の生活課題の把握及び課題解決のための有効な施策を講じる必要がある。

(2) 主な事務事業・取り組み
 ・啓発活動の推進 「同和問題啓発強調月間」における街頭啓発や市民講演会、人権啓発冊子「わたしたちの手で」の配布や市広報へ「手と手をつないで」の掲載、人権作文・ポスター・標語等の作品募集・展示など多様な啓発を行っている。
 ・人権教育の推進では職員への派遣研修及び市民対象の「人権講座ひまわり」、「いろいろ端学習(出前講座)」を設けている。
 ・同和問題を解決していく取組として、「同和問題実態調査」を実施した。また、人権センター業務の充実や住宅新築資金償還事務、生活実態等の把握に努めている。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|-------------------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 この1年間に人権侵害を受けたことがある市民の割合 | 2.8% | 1.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 同和問題をはじめあらゆる人権が尊重されていると感じる市民の割合 | 80.3% | 90.0% | 市民意識調査から |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

| (1) 施策成果指標の達成状況 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|-----------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-----|----|-----|-------|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 2.8% | 3.0% | 2.4% | 3.4% | 2.4% | 2.1% | 2.0% | | | | | 1.0% |
| | 指標2 | 80.3% | 76.2% | 82.0% | 75.3% | 82.0% | 76.8% | 82.0% | | | | | 90.0% |
| | 指標3 | 0.0% | | | | | | | | | | | |

| (2) 構成事務事業 | 事務事業名 | 所管課 | (単位:千円) | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------|---------------------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|----|-----|----|-----|----|-----|---|
| | | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | |
| 1 | 人権尊重のまちづくり推進審議会運営事業 | 人権政策課 | 1,348 | 1,472 | 1,387 | 1,472 | 2,274 | 2,357 | | | | | | | | |
| 2 | 人権擁護事業 | 人権政策課 | 3,233 | 3,247 | 3,247 | 3,254 | 2,575 | 2,553 | | | | | | | | |
| 3 | 人権・同和問題啓発事業 | 人権政策課・教務課 | 16,487 | 16,385 | 16,057 | 19,583 | 15,313 | 18,898 | | | | | | | | |
| 4 | 人権・同和問題研修事業 | 人権政策課 | 1,883 | 2,129 | 1,909 | 2,138 | 2,588 | 2,802 | | | | | | | | |
| 5 | 人権教育推進事業 | 教務課 | 13,046 | 13,122 | 12,971 | 13,025 | 12,071 | 12,229 | | | | | | | | |
| 6 | 教育委員会職員人権問題研修事業 | 教務課 | 477 | 471 | 471 | 471 | 421 | 421 | | | | | | | | |
| 7 | 運動団体補助金拠出事業 | 人権政策課 | 9,485 | 9,479 | 8,746 | 8,746 | 9,126 | 9,126 | | | | | | | | |
| 8 | 人権センター施設維持管理事業 | 人権政策課 | 24,841 | 25,433 | 29,636 | 44,780 | 43,075 | 23,465 | | | | | | | | |
| 9 | 人権センター業務委託事業 | 人権政策課 | 42,197 | 42,197 | 42,197 | 42,197 | 41,774 | 41,774 | | | | | | | | |
| 10 | 住宅新築資金返還事業 | 人権政策課 | 8,550 | 7,179 | 6,795 | 8,442 | 8,134 | 4,042 | | | | | | | | |
| 11 | 生活扶助等給付事業 | 人権政策課 | 4,600 | 5,205 | 3,801 | 4,905 | 3,926 | 4,774 | | | | | | | | |
| 12 | 児童館事業 | 教務課 | 11,568 | 11,854 | 11,459 | 11,770 | 11,275 | 11,411 | | | | | | | | |
| 13 | 同和対策推進会議運営事業 | 人権政策課 | 1,664 | 1,664 | 1,664 | 1,664 | 2,274 | 2,274 | | | | | | | | |
| 14 | 各種学校奨学金関係事務 | 教務課 | 3,491 | 3,853 | 3,235 | 3,673 | 2,659 | 3,217 | | | | | | | | |
| 15 | 同和問題実態調査事業 | 人権政策課 | 0 | 60 | 50 | 9,060 | 9,219 | 2,354 | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | | 142,870 | 143,750 | 143,625 | 175,180 | 166,704 | 141,697 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果
 今後の同和行政の方向性を定めるため、「同和問題実態調査」を実施した。「人権尊重のまちづくり推進基本指針」に基づいた、総合行政としての人権施策の確立に向けた取り組みが進んできている。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
 同和問題をはじめとする様々な人権問題解決のための更なる啓発の推進。住宅新築資金等貸付金滞納者には、実態把握に努め、県や弁護士と相談しながら返還を促進していかなければならない。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
 「同和問題実態調査報告書」より、市民の意識や地区住民の意識と生活実態を把握し、前回との経年変化や、この間の成果点、課題点を整理し、これからの人権・同和行政の方向性を見出し、同和問題の一日も早い解決につなげる必要がある。「人権尊重のまちづくり推進基本指針」に基づき、総合行政としての人権施策の確立に向けた更なる取り組みが必要である。住宅新築資金等貸付金滞納者から返済を促すための法的知識を学習し、早期返済を促進する必要がある。

| | | | |
|--|-------------------------|-----------------------------|---------|
| 部長確認欄 | | 記入日 | 8 月 9 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| あらゆる人権問題に総合行政として、また、市民との協働により対応していくことが必要である。 | 現状を正しく把握し、適切な取り組みが必要である | 2 市民生活部長 古川 芳文 内線 445 | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|--------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 12 男女共同参画の推進 | 施策コード | 3 - 12 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 7 市民生活部人権政策課 |
| 目標 | 3 豊かな心を育みふれあいを大切にするまちづくり | 統括課長名 | 諫山 博美 内線 442 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

平成15年に策定した「太宰府市男女共同参画プラン」を見直し、平成21年度から「太宰府市男女共同参画プラン後期基本計画」を策定して、現在この計画に沿って諸施策を推進してきた。この計画期間が平成24年度までとなっていることから、平成25年度から10年間の「第2次太宰府市男女共同参画プラン」を策定する必要がある。
 施策の柱は啓発の推進と女性問題についての相談・支援体制の充実、政策決定過程への女性の参加拡大など。

(2) 主な事務事業・取り組み

現行の「男女共同参画後期基本計画」の進行管理と、平成25年度から10年間の「第2次太宰府市男女共同参画プラン」を策定した。啓発事業では、「男女共同参画市民フォーラム」を実行委員会参加団体の拡大と内容の充実を図り、来場者の拡大に努めている。女性問題の相談に的確に対応するため、研修会等に積極的に参加すると共に、情報の収集に努めている。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|----------------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 男は仕事、女は家庭という役割分担意識を持たない市民の割合 | 60.5% | 65.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 市における各種審議会委員等の女性登用率 | 26.5% | 37.0% | |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-----|----|-----|-------|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| | 指標1 | 60.5% | 66.4% | 66.0% | 63.8% | 70.0% | 65.8% | 70.0% | | | | | 65.0% |
| | 指標2 | 26.5% | 26.1% | 29.0% | 25.1% | 29.0% | 26.2% | 29.0% | | | | | 37.0% |
| | 指標3 | 0.0% | | | | | | | | | | | 0.0% |

(2) 構成事務事業

| 事務事業名 | (単位:千円) | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|-----------------------|---------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|----|-----|----|-----|---|
| | | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | |
| 1 男女共同参画審議会運営事業 | | 人権政策課 | 3,155 | 3,212 | 3,162 | 3,413 | 4,635 | 4,447 | | | | | | |
| 2 男女共同参画啓発事業 | | 人権政策課 | 3,898 | 4,077 | 3,951 | 4,048 | 4,760 | 4,897 | | | | | | |
| 3 女性センタールミナス運営委員会運営事業 | | 人権政策課 | 2,594 | 2,608 | 2,608 | 2,608 | 1,985 | 1,999 | | | | | | |
| 4 女性センタールミナス管理運営事業 | | 人権政策課 | 22,510 | 26,222 | 25,982 | 23,282 | 25,929 | 31,765 | | | | | | |
| 5 女性問題相談事業 | | 人権政策課 | 1,898 | 1,898 | 1,898 | 1,898 | 4,473 | 4,473 | | | | | | |
| 6 男女共同参画推進委員運営事業 | | 人権政策課 | 0 | 134 | 44 | 3,176 | 3,067 | 3,176 | | | | | | |
| 7 女性参画推進事業 | | 人権政策課 | 40 | 40 | 40 | 3,327 | 1,780 | 949 | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | | 34,095 | 38,191 | 37,685 | 41,752 | 46,629 | 51,706 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

「第2次太宰府市男女共同参画プラン」を策定した。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

市民意識調査「男は仕事、女は家庭」という役割分担意識を持った市民の割合は横ばいである。また、「市における各種審議会委員等の女性登用率」についても30%に達していない。今後は、男女共同参画の視点に立った意識改革を促進すべく、啓発に力を入れていく必要がある。(平成25年度からは、街頭啓発を実施予定である。)

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)

平成24年度は男女共同参画市民意識調査を実施し、その調査結果を基礎資料として「第2次男女共同参画プラン(平成25年度~34年度)」を策定した。第2次プランには、「男性、子どもにとっての男女共同参画」「地域・防災分野への男女共同参画」など、社会情勢の変化に伴う新たな課題にも対応するなど、より一層の推進を図る内容とした。今後は、市民や事業者等と連携・協働して、家庭、地域、職場、学校等のあらゆる場面で、男女共同参画の視点を取り入れ、誰もがいきいきと活躍できる「男女共同参画社会」の実現を目指す必要がある。

部長確認欄

| | | | |
|---------------------------------|----------------------------|-------|-----------------------------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 記入日 | 8 月 9 日 |
| 男女共同参画社会の実現に向け、第2次プランの具現化に取り組む。 | 計画目標の達成に向け、更に具体的な取り組みを進める。 | 所属部長名 | 2 市民生活部長 古川 芳文 内線 445 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|--------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 5 日 |
| 施策名 | 13 生涯学習の推進 | 施策コード | 3 - 13 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 16 教育部生涯学習課 |
| 目標 | 3 豊かな心を育みふれあいを大切にするまちづくり | 統括課長名 | 木原 裕和 内線 1010 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- 生涯学習への意欲の高まりから利用者が増えているいきいき情報センターの経年劣化に対応するため、計画的な改修工事が必要である。
 - 体育複合施設については、「総合体育館建設調査研究委員会」からの答申を尊重し、生涯スポーツの拠点としての総合体育館機能をはじめ、市民の多様なニーズや災害時の緊急避難所等の複合的機能を併せ持つ施設として建設・整備をめざしていく。今後、公共施設整備推進課等の関係課と一体となり、基本計画策定後、パブリックコメントを経て、基本設計・実施設計に着手し、平成27年度中の供用開始を目指す。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- 平成22年度に策定した「第三次太宰府市生涯学習推進基本計画」に沿って学習環境の整備・充実を図るとともに、生涯学習の総合的な推進体制の充実を図る。
 - 平成22年3月に策定した「太宰府市スポーツ振興基本計画実施計画」に従い、事業内容を見直す。また、スポーツ推進委員が市民のスポーツ活動や自治協議会のスポーツ関連行事等を通じて、地域づくり、高齢者の健康づくりや引きこもり防止等に貢献できるよう、推進委員派遣事業を実施する。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|----------------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 日頃から学習テーマを持って学習に取り組んでいる市民の割合 | 16.2% | 20.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合 | 33.9% | 40.0% | 市民意識調査から |
| 指標3 市民一人当たりの貸出冊数 | 8.5冊 | 10.0冊 | |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|-----|--|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | | |
| 成果指標 | 指標1 | 16.2% | 16.2% | | 17.2% | 17.5% | 15.0% | 18.5% | | 19.5% | | 20.0% | | | |
| | 指標2 | 33.9% | 37.4% | | 41.0% | 40.0% | 37.2% | 40.0% | | 40.0% | | 40.0% | | | |
| | 指標3 | 8.5冊 | 8.1冊 | | 8.1冊 | 8.5% | 8.1% | 9.0% | | 9.5% | | 10.0冊 | | | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|----|-----|----|-----|---|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | |
| 1 生涯学習推進事業 | 生涯学習課 | 11,999 | 6,416 | 6,263 | 6,412 | 4,929 | 10,299 | | | | | | |
| 2 いきいき情報センター管理運営事業 | 生涯学習課 | 111,513 | 80,219 | 79,209 | 97,643 | 83,969 | 80,142 | | | | | | |
| 3 キャンパスネットワーク会議運営事業 | 生涯学習課 | 6,048 | 6,319 | 6,319 | 6,319 | 5,514 | 6,382 | | | | | | |
| 4 中央公民館主催事業 | 中央公民館 | 11,046 | 9,284 | 9,186 | 10,375 | 6,955 | 6,970 | | | | | | |
| 5 中央公民館・市民図書館維持管理事業 | 中央公民館 | 89,022 | 68,196 | 67,075 | 69,924 | 66,710 | 87,118 | | | | | | |
| 6 地区公民館活動助成事業 | 中央公民館 | 24,977 | 35,575 | 35,490 | 29,422 | 27,782 | 30,082 | | | | | | |
| 7 資料収集及び資料提供事業 | 市民図書館 | 74,874 | 99,062 | 114,213 | 106,376 | 79,561 | 78,422 | | | | | | |
| 8 移動図書館巡回事業 | 市民図書館 | 1,745 | 2,007 | 1,676 | 6,421 | 6,548 | 22,437 | | | | | | |
| 9 図書館間のネットワーク整備事業 | 市民図書館 | 497 | 1,710 | 1,887 | 766 | 771 | 778 | | | | | | |
| 10 スポーツ指導事業 | 生涯学習課 | 3,249 | 2,542 | 2,344 | 2,322 | 1,827 | 1,964 | | | | | | |
| 11 体育の日事業 | 生涯学習課 | 7,753 | 6,658 | 6,228 | 6,998 | 6,192 | 5,902 | | | | | | |
| 12 県民体育大会事業 | 生涯学習課 | 3,026 | 3,953 | 3,953 | 3,953 | 3,953 | 3,953 | | | | | | |
| 13 スポーツイベント企画事務 | 生涯学習課 | 2,554 | 2,986 | 2,750 | 2,986 | 2,459 | 2,605 | | | | | | |
| 14 スポーツ推進委員活動支援事業 | 生涯学習課 | 6,289 | 5,805 | 5,743 | 5,908 | 5,265 | 5,075 | | | | | | |
| 15 体育協会活動支援事業 | 生涯学習課 | 4,327 | 5,639 | 5,639 | 5,639 | 4,919 | 5,419 | | | | | | |
| 16 総合型地域スポーツクラブ設立・育成事業 | 生涯学習課 | 3,251 | 3,242 | 3,242 | 3,242 | 2,849 | 2,849 | | | | | | |
| 17 スポーツ振興基本計画推進事業 | 生涯学習課 | 4,153 | 3,327 | 3,327 | 3,327 | 2,905 | 2,905 | | | | | | |
| 18 スポーツ施設建設事業 | 生涯学習課 | 104,608 | 5,398 | 305,038 | 5,854 | 4,187 | 187,499 | | | | | | |
| 19 スポーツ施設改修・補修事業 | 生涯学習課 | 24,087 | 7,420 | 8,901 | 6,920 | 5,250 | 6,160 | | | | | | |
| 20 スポーツ施設の運営・開放事業 | 生涯学習課 | 71,724 | 69,810 | 74,205 | 69,708 | 68,806 | 69,172 | | | | | | |
| 21 学校体育施設開放事業 | 生涯学習課 | 12,111 | 12,508 | 12,112 | 12,476 | 12,313 | 12,213 | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 578,853 | 438,076 | 754,800 | 462,991 | 403,664 | 628,346 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- 「第3次生涯学習推進基本計画」策定により、市民のニーズの把握ができた。
 - 「太宰府市スポーツ振興基本計画」に基づき、生涯スポーツの推進ができた。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- 経年経過とともに施設が老朽化し、市民が生涯学習の場として、安心して快適に利用できるように環境整備する必要がある。
 - 生涯学習環境の整備、充実する必要がある。
 - 総合体育館建設に向けての課題解決の必要がある。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- 生涯学習活動の場として、他の公共施設との連携を重視し、それぞれの施設が特色のある事業を進めることも視野に入れ、今後充実を図っていく。
 - 総合体育館建設にむけての共通理解に努める。

部長確認欄

| | | | |
|--|---|-------|-----------------------------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 記入日 | 8 月 5 日 |
| 生涯学習の推進は、生きがいづくりや健康づくりともつながるものであり、文化・スポーツ等の振興を継続的に行っていく。 | 各種施設における役割分担と計画に基づく有効な施策の展開を図っていく必要がある。 | 所属部長名 | 7 教育部長 今泉 憲治 内線 446 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|--------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 5 日 |
| 施策名 | 14 社会教育の推進 | 施策コード | 3 - 14 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 16 教育部生涯学習課 |
| 目標 | 3 豊かな心を育みふれあいを大切にするまちづくり | 統括課長名 | 木原 裕和 内線 1010 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- ・都市化、核家族化、少子化など子どもや親を取り巻く環境が大きく変化する中、家庭の教育力向上や家庭教育への支援が強く求められている。
 - ・現代の若者は、就職難、地域とのかかわりの希薄さなどの問題を抱えている。
 - ・子ども会、ジュニアリーダーズクラブ、少年の船など、社会情勢の変化や少子化の影響から年々参加者が減少している。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- ・小・中学生の保護者を対象に、学校を単位とした家庭教育学級を開設し、親としての資質向上を図ることを目的に講話や体験学習等を実施する。
 - ・地域のリーダーとして活動するような若者たちを育成し、また、地域でのまちづくりに積極的に参加していく若者たちを支援する。
 - ・子ども会加入者に対するリーダー研修の充実、市内の中・高生を構成員にしたジュニアリーダーズクラブの育成を支援する。
 - ・太宰府市補導連絡協議会や太宰府市青少年育成市民の会と共に、少年をめぐる有害環境の浄化活動・非行行為の早期発見と補導また、地域社会及び関係機関と連携強化し青少年の健全育成に努める。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|-----------------|------------|------------|----|
| 指標1 子ども会加入率 | 72.0% | 80.0% | |
| 指標2 刑法犯少年検挙補導者数 | 75人 | 45人 | |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 72.0% | 70.9% | 72.0% | 68.5% | 74.0% | 67.2% | 76.0% | | 78.0% | | 80.0% | |
| | 指標2 | 75人 | 未公開 | | | | | | | | | 45人 | |
| | 指標3 | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|---------------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 家庭教育学級事業 | 生涯学習課 | 8,360 | 8,938 | 8,413 | 8,773 | 4,309 | 4,662 | | | | | |
| 2 社会教育委員の会運営事業 | 生涯学習課 | 2,656 | 3,412 | 3,379 | 3,458 | 3,154 | 3,130 | | | | | |
| 3 社会教育関係団体の連携・育成・支援 | 生涯学習課 | 3,768 | 4,677 | 4,677 | 4,877 | 2,906 | 3,606 | | | | | |
| 4 げんき若者活動支援事業 | 生涯学習課 | 0 | 2,525 | 2,525 | 2,525 | 2,584 | 2,584 | | | | | |
| 5 青少年育成市民の会支援事業 | 生涯学習課 | 3,241 | 3,319 | 3,319 | 3,319 | 3,904 | 3,904 | | | | | |
| 6 成人式運営事業 | 生涯学習課 | 6,248 | 4,146 | 4,105 | 4,146 | 3,466 | 3,455 | | | | | |
| 7 子ども会リーダー研修事業 | 生涯学習課 | 2,929 | 4,463 | 4,395 | 4,455 | 4,128 | 4,025 | | | | | |
| 8 子ども会育成会研修事業 | 生涯学習課 | 3,097 | 2,854 | 2,838 | 2,854 | 2,520 | 2,524 | | | | | |
| 9 ジュニアリーダー育成事業 | 生涯学習課 | 2,782 | 1,291 | 1,290 | 1,291 | 2,549 | 2,852 | | | | | |
| 10 補導連絡協議会支援事業 | 生涯学習課 | 4,164 | 3,317 | 3,317 | 3,316 | 3,958 | 3,627 | | | | | |
| 11 ヤングテレフォン相談事業 | 生涯学習課 | 3,907 | 3,698 | 3,669 | 3,676 | 3,028 | 3,030 | | | | | |
| 12 子どもの遊び場事業 | 生涯学習課 | 2,053 | 2,543 | 2,543 | 3,204 | 2,709 | 2,037 | | | | | |
| 13 地域活動指導員設置事業 | 生涯学習課 | 7,966 | 8,694 | 8,692 | 8,692 | 8,050 | 8,092 | | | | | |
| 14 少年の船助成事業 | 生涯学習課 | 3,057 | 3,146 | 3,190 | 2,386 | 2,558 | 2,558 | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 54,228 | 57,023 | 56,352 | 56,972 | 49,823 | 50,086 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- ・社会教育に関する諸計画の立案・必要な調査研究のため、社会教育委員の各自治会訪問が完了した。
 - ・地域リーダーとして、活動するような若者たちの育成を図るため、「げんき若者交流会」を立ち上げ、活動の支援を行った。
 - ・子ども会活動を通して、地域の教育力の醸成を図り、青少年の健全育成をめざす。
 - ・有害環境の浄化、非行行為の早期発見と補導を通して、青少年の健全育成はかる。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- ・学級に参加していない保護者の参加に対する取り組み。
 - ・若者の活躍の場の確保と居場所づくりが求められている。
 - ・子ども会の加入率を上げること。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- ・学校、地域、家庭の連携と地域の教育力の向上を図る。

部長確認欄

| | | | |
|---|---|-------|---------------------------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 記入日 | 8 月 5 日 |
| 太宰府市の地域人として育成していく事業であり、今後とも継続していく必要がある。 | 将来を担う青少年の健全育成のため、子ども会加入への保護者の理解と協力、各種事業を通じて指導者の人材育成を図っていく必要がある。 | 所属部長名 | 7 教育部長 今泉 憲治 内線 446 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------------|--------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 8 日 |
| 施策名 | 15 学校教育の充実 | 施策コード | 3 - 15 |
| 第五次総合計画 目標 | 3 豊かな心を育みふれあいを大切にするまちづくり | 施策統括課 | 15 教育部学校教育課 |
| | | 統括課長名 | 森木 清二 内線 447 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- ・学校施設等の大半が築20～30年以上を経過し、老朽化による要補修箇所も多いことから校舎等の教育環境の整備が求められている。
 - ・学校図書事務職員の中学校への配置が必要である。
 - ・適応指導教室は、「つばさ学級」を設置している「太宰府市青少年相談センター」の施設老朽化により、今後、施設整備の必要がある。
 - ・特別支援教育は、支援を必要としている児童・生徒が増加していることから、支援員を含め支援を拡大していく必要がある。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- ・学校施設の耐震化は完了したが、老朽化による要補修箇所も多いことから、今後、大規模改修などを計画的に実施していく。
 - ・学校図書事務職員は、平成25年度から小学校への配置がなされているが、中学校への配置がなされていないので、今後とも要求していく。
 - ・「太宰府市青少年相談センター」については、今後、建て替えも含め、計画的な改修を検討する。
 - ・特別支援教育は、支援を必要としている児童・生徒が増加していることから支援員を増員していく。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|------------------|-------------------|-------------------|----------|
| 指標1 全国的な学力調査との比較 | 全国の平均値を上回る | 全国の平均値を上回る | 教研式CRT検査 |
| 指標2 全国的な体力調査との比較 | 全国の平均値をやや下回る | 全国の平均値を上回る | |
| 指標3 不登校児童生徒の割合 | 小学生0.45%、中学生2.43% | 小学生0.25%、中学生1.46% | |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----|-------------------|----|-------------------|--|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | | |
| 成果指標 | 指標1 | 全国の平均値を上回る | 全体的に上回る | 上回る | 全国の平均値を上回る | 上回る | 全国の平均値を上回る | 上回る | 全国の平均値を上回る | 上回る | | 上回る | | 全国の平均値を上回る | |
| | 指標2 | 全国の平均値をやや下回る | 下回る | 上回る | 全国の平均値をやや下回る | 上回る | 全国の平均値をやや下回る | 上回る | 全国の平均値をやや下回る | 上回る | | 上回る | | 全国の平均値を上回る | |
| | 指標3 | 小学生0.45%、中学生2.43% | 小学生0.38%、中学生2.52% | 小学生0.38%、中学生2.24% | 小学生0.43%、中学生2.10% | 小学生0.37%、中学生2.04% | 小学生0.33%、中学生2.17% | 小学生0.33%、中学生1.85% | 小学生0.29%、中学生1.65% | 小学生0.29%、中学生1.65% | | 小学生0.25%、中学生1.46% | | 小学生0.25%、中学生1.46% | |

(2) 構成事務事業

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|----------------------------|-------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|-----|----|-----|----|-----|---|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | |
| 1 教職員研修事業 | 学校教育課 | 5,093 | 4,060 | 4,052 | 4,043 | 3,869 | 3,880 | | | | | | |
| 2 教職員人事・管理事務 | 学校教育課 | 1,929 | 2,047 | 2,047 | 1,495 | 3,983 | 3,983 | | | | | | |
| 3 ALT活用事業 | 学校教育課 | 14,907 | 14,365 | 14,210 | 14,439 | 16,056 | 13,753 | | | | | | |
| 4 学校給食事業 | 学校教育課 | 80,825 | 82,927 | 81,085 | 82,927 | 99,409 | 99,918 | | | | | | |
| 5 小学校管理運営事業 | 学校教育課 | 208,821 | 232,568 | 221,908 | 212,515 | 190,913 | 221,760 | | | | | | |
| 6 中学校管理運営事業 | 学校教育課 | 96,870 | 104,822 | 95,158 | 109,026 | 101,409 | 103,804 | | | | | | |
| 7 就学援助事業 | 学校教育課 | 57,638 | 68,202 | 59,411 | 68,188 | 58,518 | 67,346 | | | | | | |
| 8 外部講師等活用事業 | 学校教育課 | 3,873 | 4,169 | 3,243 | 4,179 | 3,945 | 3,997 | | | | | | |
| 9 就学通知事務事業 | 学校教育課 | 6,477 | 6,498 | 6,475 | 5,942 | 5,344 | 5,364 | | | | | | |
| 10 教育研究事業 | 学校教育課 | 6,005 | 7,012 | 6,150 | 6,569 | 3,471 | 6,343 | | | | | | |
| 11 校長会、教頭会に関する事務 | 学校教育課 | 4,577 | 4,650 | 4,650 | 4,650 | 4,693 | 4,693 | | | | | | |
| 12 中学校ランチサービス事業 | 学校教育課 | 8,237 | 11,411 | 8,297 | 10,432 | 11,302 | 10,406 | | | | | | |
| 13 外部評価・地域連携事業 | 学校教育課 | 3,911 | 4,483 | 4,294 | 4,784 | 4,379 | 5,266 | | | | | | |
| 14 適応指導教室「つばさ学級」運営事業 | 学校教育課 | 8,435 | 8,806 | 8,606 | 15,861 | 14,917 | 17,889 | | | | | | |
| 15 児童生徒の問題行動に関する事務 | 学校教育課 | 6,633 | 6,685 | 6,685 | 6,685 | 6,666 | 6,848 | | | | | | |
| 16 スクールカウンセラー等活用事業 | 学校教育課 | 2,435 | 2,521 | 2,462 | 2,495 | 2,370 | 2,401 | | | | | | |
| 17 学校同和教育に関する事務 | 学校教育課 | 1,904 | 1,927 | 1,927 | 1,927 | 1,909 | 1,871 | | | | | | |
| 18 特別支援教育就学奨励費事業 | 学校教育課 | 4,544 | 5,095 | 4,592 | 5,299 | 3,849 | 4,458 | | | | | | |
| 19 特別支援教育に関する事務 | 学校教育課 | 42,348 | 53,792 | 47,591 | 53,328 | 47,732 | 52,308 | | | | | | |
| 20 ICT整備事業 | 学校教育課 | 50,550 | 54,833 | 54,865 | 55,491 | 51,071 | 62,934 | | | | | | |
| 21 吹奏楽推進事業 | 学校教育課 | 6,969 | 5,263 | 4,709 | 5,579 | 2,236 | 6,227 | | | | | | |
| 22 小中学校施設整備関係事務 | 教務課 | 140,810 | 95,223 | 276,724 | 90,533 | 564,964 | 77,866 | | | | | | |
| 23 小中学校施設等維持管理業務 | 教務課 | 11,327 | 16,531 | 17,549 | 18,045 | 16,169 | 15,411 | | | | | | |
| 24 教職員、児童、生徒の保健並びに安全に関する事務 | 学校教育課 | 31,685 | 34,316 | 31,235 | 36,284 | 23,788 | 35,091 | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 806,803 | 832,206 | 967,925 | 820,716 | 1,242,962 | 833,817 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の計画的導入の2年目として太宰府東小学校と太宰府南小学校において実施。太宰府小学校と水城小学校において、大規模改修工事実施。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- 学力や体力の向上、心の教育を重要課題として位置づけ、知徳体のバランスのとれた子供の育成が課題である。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- 学習指導要領のもとに、基礎的・基本的な知識及び技能を修得させ、また、それを活用して思考力、判断力、表現力、その他の能力を育む。

部長確認欄

| | | | |
|--|--|-------|---------------------------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 記入日 | 8 月 9 日 |
| 地域と共にある学校づくりを実現するためには、コミュニティスクールの充実が重要である。 | 知・徳・体のバランスを向上するとともに、道徳教育をさらに充実する必要がある。 | 所属部長名 | 7 教育部長 今泉 憲治 内線 446 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|--------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 5 日 |
| 施策名 | 16 文化芸術の振興 | 施策コード | 3 - 16 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 16 教育部生涯学習課 |
| 目標 | 3 豊かな心を育みふれあいを大切にするまちづくり | 統括課長名 | 木原 裕和 内線 1010 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- ・「太宰府市文化振興基本指針」の見直し策定中である。市民の文化芸術活動の状況把握、ニーズに対する対応を的確に行う必要がある。
 - ・文化芸術活動の練習及び発表会場としての、文化ホールの整備及び公共施設使用料減免を継続する必要がある。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- ・多様化する市民の文化に対する意識を的確に把握し、市民が個人またはグループで自主的に行う様々な文化活動を支援する。
 - ・平成8年に策定された「太宰府市文化推進基本方針」の見直しを行う。文化・学習施設の有効活用を図り、また、教育機関と市民との連携、交流が密になるような体制づくりを行う。地域に根ざした歴史的行事や伝統文化の保護・育成を図る。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|----------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 文化芸術活動を月数回以上行っている市民の割合 | 14.5% | 20.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 | 0 | 0.0% | 0 |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 14.5% | 16.4% | 18.0% | 16.4% | 18.5% | 17.1% | 19.0% | | 19.5% | | 20.0% | |
| | 指標2 | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | |
| | 指標3 | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------|------------|--------|--------|--------|----|--------|--------|--------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 文化芸術振興事業 | 生涯学習課 | 6,933 | 9,858 | 9,686 | | 9,960 | 11,256 | 12,499 | | | | | |
| 2 市史活用・地域史料等研究事業 | 情報・公文書館推進課 | 13,660 | 12,859 | 14,051 | | 15,496 | 15,100 | 13,014 | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 20,593 | 22,717 | 23,737 | | 25,456 | 26,356 | 25,513 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- ・「太宰府市文化振興基本指針」の見直しに取り組むことができた。
 - ・歴史資料の調査・研究及び行政資料の収集・選別を計画的に実施することができた。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- ・文化に関する情報の一元化が必要である。
 - ・文化団体の活動を育成支援するための、公共施設の使用料を減免する必要がある。
 - ・市民の文化芸術活動の状況把握、ニーズに対する対応を的確に行う必要がある。
 - ・収集した資料の置き場が不足しており、保存環境が良好ではない。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- ・国士舘大学太宰府キャンパス旧実習棟を公文書館として活用する方向で、運営方針の検討、建屋の改修、例規整備などを行う。
 - ・文化団体に対する支援・補助を行なう。
 - ・文化振興に関する環境整備が必要である。

| | | | |
|--|---|---------------------------|----------|
| 部長確認欄 | | 記入日 | 8 月 13 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 文化・芸術の振興も生きがいづくり、健康づくりにつながるものである。文化振興基本指針を見直し、体系的・計画的に取り組んでいく。 | ブラム・カルコア太宰府を文化・芸術の発信拠点として位置づけ、生涯学習課と市民図書館・中央公民館が連携して施策を展開していく必要がある。 | 7 教育部長 今泉 憲治 内線 446 | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 17 生活環境の向上 | 施策コード | 4 - 17 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 6 市民生活部環境課 |
| 目標 | 4 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり | 統括課長名 | 田中 縁 内線 360 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

公害の防止に努めるとともに、ごみのポイ捨てやペットの飼い方、近隣騒音、あき地の適正管理など、身近な生活環境に関するトラブルを防止する。また、地域住民のモラル向上や自主的な美化活動を推進することで、生活環境の向上を図る。

(2) 主な事務事業・取り組み

- ・大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等の公害防止に取り組む。
- ・地域コミュニティ活動と連携して、市民や地域を巻き込んだ環境美化活動の推進や環境マナーアップ推進事業を行う。
- ・環境マナーアップ条例の制定に向けた調査研究を行う。
- ・あき地の適正管理の指導啓発を行う。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|-----------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 自宅周辺の環境が清潔で衛生的と感じる市民の割合 | 73.7% | 80.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 環境マナーが守られていると感じる市民の割合 | 62.8% | 70.0% | 市民意識調査から |
| 指標3 地域の美化活動に参加している市民の割合 | 52.2% | 60.0% | 市民意識調査から |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 73.7% | 77.9% | 80.0% | 76.8% | 82.0% | 78.7% | 84.0% | | 85.0% | | 80.0% | |
| | 指標2 | 62.8% | 68.5% | 70.0% | 67.1% | 72.0% | 67.6% | 74.0% | | 75.0% | | 70.0% | |
| | 指標3 | 52.2% | 63.6% | 65.0% | 65.5% | 67.0% | 72.7% | 69.0% | | 70.0% | | 60.0% | |

(2) 構成事務事業

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|-----------------------|-----|---------|---------|---------|----|---------|---------|---------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 公害防止等対策事業 | 環境課 | 4,521 | 4,100 | 3,105 | | 5,203 | 5,079 | 4,184 | | | | | |
| 2 墓地・納骨堂管理運営事業 | 環境課 | 2,662 | 9,430 | 7,209 | | 3,236 | 2,137 | 3,146 | | | | | |
| 3 畜犬登録管理事業 | 環境課 | 3,956 | 2,001 | 1,967 | | 1,888 | 2,546 | 3,586 | | | | | |
| 4 筑慈苑施設組合事業 | 環境課 | 143,281 | 143,076 | 139,236 | | 146,992 | 141,756 | 150,935 | | | | | |
| 5 旧北寿苑関連事業(北谷区環境整備事業) | 環境課 | 10,776 | 9,289 | 9,279 | | 7,712 | 6,653 | 6,645 | | | | | |
| 6 あき地等管理促進事業 | 環境課 | 3,324 | 4,303 | 4,223 | | 4,223 | 4,404 | 3,687 | | | | | |
| 7 防疫・食品衛生事業 | 環境課 | 661 | 447 | 447 | | 447 | 713 | 1,058 | | | | | |
| 8 環境マナーアップ推進事業 | 環境課 | 0 | 0 | 0 | | 2,827 | 585 | 1,846 | | | | | |
| 9 環境美化推進事業 | 環境課 | 15,662 | 17,444 | 15,842 | | 8,124 | 6,289 | 7,936 | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 184,843 | 190,090 | 181,308 | | 180,652 | 170,162 | 183,023 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

- ・ペットの飼い方やフンの処理、近隣騒音、あき地の管理など、生活環境に関する様々な苦情に対応し、指導啓発を行った。
- ・環境美化月間(6月)やクリーンデー(12月)を実施した。
- ・地域の美化活動に対する支援や地域美化推進事業補助金の交付を行った。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

- ・生活環境に関するマナーの向上について、継続して啓発していく必要がある。
- ・あき地所有者の高齢化や所在不明などにより、市からの連絡指導が困難な場合がある。
- ・地域の高齢化により、今までのような自治会役員等を主体とした地域美化活動が困難になってきている。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)

- ・様々な機会を使って環境マナーアップの啓発に取り組む。また、マナーアップ条例の制定について調査研究を行う。
- ・あき地の適切な管理について、継続して指導を行う。
- ・地域美化活動の参加促進を図るとともに、地域美化推進事業補助金の交付内容について見直しを行う。

部長確認欄

| | | | |
|-------------------------------|--|-------|-----------------------------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 記入日 | 8 月 9 日 |
| 環境マナーの向上は、快適な市民生活を送るうえで重要である。 | 市民からの相談や苦情に対して、きめ細やかな対応を行う必要がある。また、高齢社会を見据えた施策の転換も検討する必要がある。 | 所属部長名 | 2 市民生活部長 古川 芳文 内線 445 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 18 自然共生社会の構築 | 施策コード | 4 - 18 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 6 市民生活部環境課 |
| 目標 | 4 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり | 統括課長名 | 田中 縁 内線 360 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項
 豊かなみどりや水環境を守り育て、活用しながら、人と自然が共生するまちの実現をめざし、緑の保全や河川の水質の保全に取り組む。また、市民の地域への愛着を深めるために、市民と自然とのふれあいの機会を増やす。

(2) 主な事務事業・取り組み
 ・市民の自然・生物への関心や保全への理解を深め、市民啓発や環境教育を進める。
 ・太宰府市緑地保全に関する条例に基づき、大佐野ダム上流域の緑地公有化を推進する。
 ・環境団体等の主催で行われている河川美化活動を支援する。
 ・民有地の道路に面する箇所の生垣植栽に対して、費用の一部を補助する。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|-------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 自然環境が豊かであると感じる市民の割合 | 88.1% | 93.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 | 0.0% | 0.0% | 0 |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

| (1) 施策成果指標の達成状況 | | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|-----------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|-----|--|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | | |
| 成果指標 | 指標1 | 88.1% | 89.4% | 90.1% | 89.2% | 90.9% | 90.5% | 91.5% | | 92.2% | | 93.0% | | | |
| | 指標2 | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | | | |
| | 指標3 | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | | | |

| (2) 構成事務事業 | | (単位:千円) | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------|-------|---------|--------|--------|----|--------|--------|--------|----|-----|----|-----|----|-----|--|
| 事務事業名 | 所管課 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | |
| 1 動植物等現況把握・活用事業 | 環境課 | 0 | 8,730 | 8,602 | | 898 | 845 | 1,186 | | | | | | | |
| 2 緑地公有化事業 | 商工農政課 | 83,154 | 84,376 | 83,729 | | 86,370 | 85,038 | 87,749 | | | | | | | |
| 3 市民等河川美化活動支援事業 | 環境課 | 1,015 | 1,001 | 1,001 | | 1,001 | 843 | 1,184 | | | | | | | |
| 4 生垣推進事業 | 都市計画課 | 402 | 2,067 | 1,772 | | 1,867 | 1,387 | 1,437 | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 84,571 | 96,174 | 95,104 | | 90,136 | 88,113 | 91,556 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果
 ・ボランティア団体や自治会、事業者等による御笠川、大佐野川の清掃活動への支援を行った。
 ・平成24年度末、大佐野ダム上流域2.6haを公有化済(29.64%)。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
 ・市民が自然・生物への関心や保全への理解を深めるための啓発活動を実施する必要がある。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
 ・環境関連市民団体等による自然観察会の開催支援や環境フェスタなどイベントを通じた啓発活動に取り組む。
 ・生垣推進協力補助金について、景観計画や歴史的風致維持向上計画と連動させて制度の運用を行う。

| 部長確認欄 | | 記入日 | 8 月 9 日 |
|-----------------------------|-------------------------|---------------------|---------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 太宰府市の豊かな自然を保全するうえで重要な施策である。 | 環境保全に対する市民の関心を深める必要がある。 | 2 市民生活部長 古川 芳文 | |
| | | 内線 445 | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 19 循環型社会の構築 | 施策コード | 4 - 19 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 6 市民生活部環境課 |
| 目標 | 4 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり | 統括課長名 | 田中 縁 内線 360 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- 廃棄物を適正に処理するため、安全で安定的に収集運搬業務や処理施設の管理運営を行う。また、環境負荷軽減とごみ処理コスト削減のため、可燃ごみを重点に、更なるごみ減量を進め、地域で資源が循環できるような仕組みや制度をつくる。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- ・3Rの更なる普及啓発を行う。特にリデュース(発生抑制)の定着を図り、ごみ排出量の抑制につなげる。
 - ・草・せん定枝や古紙等のリサイクル推進策として、回収量増量のための情報提供や新たな回収システムづくりを検討する。
 - ・地域や事業者、学校、農業者などとの連携を図りながら、生ごみの資源化・循環利用のための仕組みづくりに取り組む。
 - ・稼働後20年経過した環境美化センターの計画的な営繕工事を実施し、安全で安定的な施設運営を行う。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|--------------|------------|------------|----|
| 指標1 ごみ排出量 | 20,906t | 19,000t | |
| 指標2 リサイクル率 | 17.2% | 23.0% | |
| 指標3 古紙等集団回収量 | 2,745t | 3,900t | |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----|---------|----|---------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 20,906t | 21,075t | 20,600t | 21,039t | 20,200t | 20,843t | 19,800t | | 19,400t | | 19,000t | |
| | 指標2 | 17.2% | 17.1% | 18.3% | 17.2% | 19.5% | 17.2% | 20.7% | | 21.9% | | 23.0% | |
| | 指標3 | 2,745t | 2,617t | 2,800t | 2,517t | 3,100t | 2,480t | 3,400t | | 3,700t | | 3,900t | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|--------------------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 ごみ減量推進事業 | 環境課 | 14,646 | 11,291 | 11,063 | 9,434 | 3,879 | 2,634 | | | | | |
| 2 3R啓発事業 | 環境課 | 5,886 | 5,262 | 4,392 | 4,293 | 3,770 | 2,387 | | | | | |
| 3 古紙等リサイクル事業 | 環境課 | 23,382 | 29,996 | 22,645 | 25,357 | 22,615 | 24,570 | | | | | |
| 4 生ごみリサイクル事業 | 環境課 | 1,275 | 2,772 | 1,525 | 4,574 | 5,509 | 8,144 | | | | | |
| 5 容器包装等リサイクル事業 | 環境課 | 23,014 | 24,116 | 22,729 | 23,511 | 22,121 | 23,664 | | | | | |
| 6 せん定枝等分別収集モデル事業 | 環境課 | 0 | 0 | 160 | 3,776 | 2,645 | 3,719 | | | | | |
| 7 ごみ収集運搬 | 環境課 | 473,822 | 484,929 | 477,049 | 496,649 | 483,612 | 497,377 | | | | | |
| 8 し尿収集運搬事業 | 環境課 | 9,529 | 10,492 | 9,096 | 9,913 | 8,563 | 8,188 | | | | | |
| 9 環境美化センター管理運営事業 | 環境課 | 97,061 | 98,734 | 93,055 | 96,319 | 91,267 | 96,423 | | | | | |
| 10 両筑衛生施設組合事業 | 環境課 | 10,284 | 9,791 | 9,791 | 9,472 | 8,027 | 8,054 | | | | | |
| 11 大野城太宰府環境施設組合事業 | 環境課 | 390,638 | 385,486 | 385,486 | 387,163 | 386,371 | 411,966 | | | | | |
| 12 福岡都市圏南部環境事業組合事業 | 環境課 | 55,553 | 57,753 | 57,753 | 101,842 | 101,050 | 160,263 | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 1,105,090 | 1,120,622 | 1,094,744 | 1,172,303 | 1,139,429 | 1,247,389 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- ・せん定枝等分別収集、事業所古紙等回収のモデル事業を市全域に拡大して試行した。
 - ・生ごみリサイクルについて、本市で試行するための検討会議を行った。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- ・家庭から出る生ごみのリサイクルに関して、生活の実情を考慮した、様々な方法を提供できる体制を整える必要がある。
 - ・古紙等集団回収量が少ない地域に関わり、実施状況の改善に努める。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- ・せん定枝や古紙等回収モデル事業の結果を検証し、全市における本格実施に向けて委託等の選択肢も含め、検討を行う。
 - ・生ごみのたい肥化事業を試行する。
 - ・自治会、市民団体等との連携を深め、地域での古紙回収推進の取組を支援する。

| | | | |
|---------------------------------------|-----------------------|-----------------------------|---------|
| 部長確認欄 | | 記入日 | 8 月 9 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 一般廃棄物の適正な処理を行うとともに、ごみ減量とリサイクルの推進に努める。 | ごみ減量推進計画に基づき、各事業を進める。 | 2 市民生活部長 古川 芳文 内線 445 | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 20 低炭素社会の構築 | 施策コード | 4 - 20 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 6 市民生活部環境課 |
| 目標 | 4 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり | 統括課長名 | 田中 縁 内線 360 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
 二酸化炭素の排出量を抑制し、地球温暖化を防止する。
- (2) 主な事務事業・取り組み
 ・日常生活や事業活動においてエネルギーの消費抑制、効率利用を促進する。
 ・省エネルギーの取り組みや新エネルギーの導入を促進する。
 ・交通に起因する温室効果ガスの排出抑制を図る。
 ・市公共施設の消費エネルギー削減により温室効果ガスの削減を図る。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|----------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 省エネルギー・省資源を実施している市民の割合 | 82.1% | 90.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 市域電力使用量の排出CO2換算量 | 106,262t | 102,200t | |
| 指標3 庁舎電力使用量の排出CO2換算量 | 358t | 300t | |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----|----------|----|----------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 82.1% | 87.1% | 87.8% | 86.0% | 88.4% | 81.5% | 89.1% | | 89.7% | | 90.0% | |
| | 指標2 | 106,262t | 110,801t | 108,937t | 104,911t | 107,073t | 145,570t | 105,209t | | 103,346t | | 102,200t | |
| | 指標3 | 358t | 368t | 354t | 363t | 340t | 448t | 327t | | 313t | | 300t | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 地球温暖化対策事業 | 環境課 | 2,755 | 3,004 | 2,253 | 2,324 | 1,686 | 1,707 | | | | | |
| 2 省エネルギー対策促進事業 | 環境課 | 1,045 | 1,045 | 1,033 | 1,021 | 970 | 979 | | | | | |
| 3 エコオフィス推進事業 | 環境課 | 2,249 | 2,219 | 2,219 | 2,219 | 1,170 | 1,184 | | | | | |
| 4 新エネルギー導入促進事業 | 環境課 | 906 | 894 | 894 | 894 | 843 | 852 | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 6,955 | 7,162 | 6,399 | 6,458 | 4,669 | 4,722 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
 九州電力管内において計画停電が予定されたことから、市の率先行動として節電対策本部を立ち上げ、電灯の間引き、電気ポットの使用禁止など具体的な取り組みを行った。庁舎の節電等電力使用の抑制が進んだことから、少なくともCO2排出削減に寄与したものである。また、広報啓発により市民の間にも節電意識が定着したと考えられる。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
 電力については、原発稼働の抑制から火力発電のフル稼働など石油系の燃料使用量が増加することが考えられ、CO2の排出量の増加につながるものと懸念されることから、より一層の節電が必要になるものと思われる。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
 公共施設の省エネ化について、施設管理所管課に働きかけていく。
 市民向け省エネ対策の啓発活動を進める。

| | | | |
|--------------------------|------------------------------------|-------------------|---------|
| 部長確認欄 | | 記入日 | 8 月 9 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 社会情勢の変化を踏まえながら、省エネに取り組む。 | 公共施設の省エネに努めるなど、行政が先導的な役割を果たす必要がある。 | 2 市民生活部長 古川 芳文 | |
| | | 内線 445 | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 21 環境教育・学習の推進 | 施策コード | 4 - 21 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 6 市民生活部環境課 |
| 目標 | 4 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり | 統括課長名 | 田中 縁 内線 360 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

環境保全への意識を高め、多様な世代がいつでも環境教育や学習を行うことができるような仕組みづくりや場づくりに取り組む。また、環境にやさしいライフスタイルを推進するための啓発活動などを行う。

(2) 主な事務事業・取り組み

- ・環境教育・学習の根幹的な指針となる環境教育・学習計画及びプログラムの策定及び啓発を行う。
- ・体験型の環境教育・学習の機会づくりや場づくりを行う。
- ・環境への関心と理解を深める機会を設け、情報提供等の支援を行う。
- ・環境基本計画の進行管理を行う。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|---------------------------------|------------|------------|----|
| 指標1 環境学習会や環境講演会等に参加したことがある市民の割合 | 12.3% | 25.0% | |
| 指標2 | 0 | 0.0% | 0 |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 12.3% | 13.5% | 15.8% | 14.8% | 18.1% | 14.2% | 20.4% | | 22.7% | | 25.0% | |
| | 指標2 | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | |
| | 指標3 | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | |

(2) 構成事務事業

| 事務事業名 | 所管課 | (単位:千円) | | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|----------------------------|-----|---------|--------|--------|--------|--------|-------|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|---|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | | |
| 1 環境教育・学習推進計画等策定事業 | 環境課 | 1,921 | 1,895 | 1,895 | 2,075 | 1,698 | 1,314 | | | | | | | | | |
| 2 環境啓発イベント開催事業 | 環境課 | 4,907 | 6,432 | 6,383 | 6,264 | 6,169 | 3,840 | | | | | | | | | |
| 3 環境を考え、行動する人づくり推進事業 | 環境課 | 1,124 | 1,109 | 1,109 | 1,109 | 843 | 852 | | | | | | | | | |
| 4 環境関連団体のネットワークづくり・支援事業 | 環境課 | 1,921 | 1,895 | 1,895 | 1,895 | 1,686 | 852 | | | | | | | | | |
| 5 環境基本計画推進事業 | 環境課 | 1,968 | 1,918 | 1,808 | 1,850 | 961 | 2,038 | | | | | | | | | |
| 6 ライフスタイル・ビジネススタイルの総合的啓発事業 | 環境課 | 1,124 | 1,109 | 1,109 | 1,109 | 843 | 852 | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 12,965 | 14,358 | 14,199 | 14,302 | 12,200 | 9,748 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

- ・環境フェスタ実行委員会において環境関連団体との意見交換を行い、会場については史跡地の活用も視野に入れ、水城跡での開催とした。
- ・環境フェスタの計画段階から実施、総括にいたるまでの過程で、環境関連団体のネットワークづくりが進んでいる。
- ・環境基本計画の進捗状況については、平成23年度実績報告を環境審議会において審議し、市のホームページにて公表した。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

- ・環境フェスタの実行委員会体制について、検討する必要がある。
- ・第三次環境基本計画の進捗状況を管理する。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)

- ・環境フェスタの実行委員会において、フェスタの開催意義、今後のあり方等再検討していく。
- ・第三次環境基本計画における実施予定事業の年度進捗状況のヒアリングにより、進行管理を行う。
- ・地域における環境学習の推進を図る。

部長確認欄

| | | | |
|----------------------------|--|-------|---------------------------|
| | | 記入日 | 8 月 9 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 環境基本計画の進行管理を的確に行っていく必要がある。 | 環境フェスタの開催を通して環境関連団体との連携を深めるとともに、誰もが参加できるような環境教育・学習の場づくりを推進する必要がある。 | 2 | 市民生活部長 古川 芳文 内線 445 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|---------------------------|-------|------------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 7 月 30 日 |
| 施策名 | 22 未来に伝える景観づくり | 施策コード | 5 - 22 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 13 建設経済部都市計画課 |
| 目標 | 5 魅力的な生活空間が整い産業が活気づくまちづくり | 統括課長名 | 今村 巧児 内線 431 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

本市には、豊かな自然と数多くの文化遺産があるが、山林の荒廃、祠・石碑等の多様な文化遺産の滅失、派手な色彩の建築物や屋外広告物が建ち並ぶなど、伝統ある個性豊かな太宰府の景観を阻害する現状もある。このため、平成22年度に、良好な景観を保全、創造、育成するためのルールとして「太宰府市景観まちづくり計画」「太宰府市景観計画」及び「太宰府の景観と市民遺産を守り育てる条例」を定めるとともに、本市の歴史、文化遺産を活用した景観まちづくりを具体化する事業計画として、「太宰府市歴史的風致維持向上計画」を策定し、事業に取り組んでいる。

(2) 主な事務事業・取り組み

- ・景観計画及び条例に基づく建築行為届出、勧告事務を通じて、景観誘導を行う。
- ・太宰府らしい景観づくりに市民、事業者と協働で取り組んでいくため、啓発活動を行う。
- ・太宰府市歴史的風致維持向上計画に基づく事業を実施する。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 自然が美しいと感じる市民の割合 | 85.5% | 85.5% | 市民意識調査から |
| 指標2 歴史的景観が美しいと感じる市民の割合 | 91.3% | 91.3% | 市民意識調査から |
| 指標3 良好なまちなみと感じる市民の割合 | 76.8% | 80.0% | 市民意識調査から |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 指標1 | | 85.5% | 85.2% | 85.5% | 85.6% | 85.5% | 83.4% | 85.5% | | 85.5% | | 85.5% | |
| 指標2 | | 91.3% | 90.8% | 91.3% | 91.0% | 91.3% | 90.1% | 91.3% | | 91.3% | | 91.3% | |
| 指標3 | | 76.8% | 80.1% | 80.0% | 80.6% | 80.0% | 81.1% | 80.0% | | 80.0% | | 80.0% | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|--------------------------|-------|--------|---------|---------|---------|--------|--------|-----|----|-----|----|-----|---|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | |
| 1 景観まちづくり計画の策定及び見直し | 都市計画課 | 5,696 | 3,606 | 2,631 | 934 | 1,438 | 1,525 | | | | | | |
| 2 景観づくりに向けた啓発 | 都市計画課 | 2,723 | 2,959 | 2,625 | 2,555 | 1,450 | 1,845 | | | | | | |
| 3 景観計画及び条例による建築行為届出、勧告事務 | 都市計画課 | 6,405 | 6,405 | 6,405 | 6,405 | 2,215 | 2,215 | | | | | | |
| 4 屋外広告物許可事務 | 都市計画課 | 2,152 | 1,767 | 1,767 | 1,767 | 1,158 | 1,158 | | | | | | |
| 5 屋外広告物条例制定事務 | 都市計画課 | 977 | 977 | 977 | 1,975 | 1,975 | 1,975 | | | | | | |
| 6 潤いのある地域景観の育成 | 都市計画課 | 1,853 | 1,853 | 1,853 | 1,853 | 2,494 | 2,494 | | | | | | |
| 7 山林、農地の保全と活用 | 都市計画課 | 2,288 | 2,288 | 2,288 | 2,288 | 1,637 | 1,637 | | | | | | |
| 8 都市計画による景観誘導 | 都市計画課 | 358 | 358 | 358 | 358 | 768 | 768 | | | | | | |
| 9 ふるさと・水と土保全対策事業 | 商工農政課 | 3,507 | 3,518 | 3,496 | 6,139 | 5,931 | 5,670 | | | | | | |
| 10 屋外広告物除却事務 | 建設課 | 4,876 | 5,582 | 5,580 | 5,580 | 5,078 | 5,091 | | | | | | |
| 11 歴史まちづくり関連事業 | 都市計画課 | 36,371 | 100,771 | 82,726 | 77,921 | 46,928 | 68,378 | | | | | | |
| 12 景観資源の指定 | 都市計画課 | 661 | 661 | 661 | 661 | 1,058 | 1,058 | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 67,867 | 130,745 | 111,367 | 108,436 | 72,130 | 93,814 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

- ・太宰府の景観と市民遺産を守り育てる条例並びに「景観まちづくり計画」に基づいて建築行為に関する事前協議、届出制度を実施し、全て景観基準に適合する結果となった。施策の成果についても昨年度に続き、高水準を維持している。
- ・歴史的風致維持向上計画に基づき、観世音寺戒壇院通路の整備や歴史的風致形成建造物保存修理など本市の歴史を生かした整備事業が実施できた。
- ・水城跡周辺史跡地及び休耕田等にコスモスや菜の花などを植え、開花時期には市民、観光客などが多く訪れた。
- ・水路や道路上に設置された違反広告物を撤去することにより、良好な景観の維持と交通安全の確保がなされた。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

・「景観まちづくり計画」及び「歴史的風致維持向上計画」について、計画的に実施していく必要がある。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)

- ・景観まちづくり計画及び歴史的風致維持向上計画の実施に重点を置くこととする。
- ・緑化推進施策の創設、景観顕彰制度並びに屋外広告物条例に関する施策立案を進めていく。

| | | | |
|---|---|--------------------------|----------|
| 部長確認欄 | | 記入日 | 7 月 31 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 「景観まちづくり計画」並びに「歴史的風致維持向上計画」に基づき、計画的かつ着実に施策を進めている。 | 市民、事業者との十分な協議、連携を行いつつ、景観まちづくりを順次進めていく必要がある。 | 4 建設部長 辻 友治 内線 435 | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|---------------------------|-------|------------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 7 月 30 日 |
| 施策名 | 23 計画的なまちづくりの推進 | 施策コード | 5 - 23 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 13 建設経済部都市計画課 |
| 目標 | 5 魅力的な生活空間が整い産業が活気づくまちづくり | 統括課長名 | 今村 巧児 内線 431 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項
 国においては、人口減少、超高齢社会を迎え、一定の範囲に店舗、病院、公共施設などの必要な都市機能を集約し、自転車、公共交通などでの日常生活が可能となるまちづくりを目指すコンパクト・シティの考え方が打ち出されている。
 本市においても、長期的な視点においては、高齢化、人口減少への対応は不可欠と考えられ、都市計画の基本となる「太宰府市都市計画のマスタープラン」や各種の都市計画の見直しが必要となっている。

(2) 主な事務事業・取り組み
 「太宰府市都市計画のマスタープラン」の見直しや将来の土地利用に関して適正な都市計画を行う。
 新市街地整備となる佐野東地区について、まちづくり構想の策定を進めるとともに、まちづくりの実現に向けては、地権者、地域住民や関係者の意向を踏まえながら支援する。
 「太宰府市公園長寿命化計画」に基づいて公園の改修を行い、公園の機能を向上させる。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 快適で住環境がよいと感じる市民の割合 | 69.6% | 75.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 生活するうえで便利と感じる市民の割合 | 69.7% | 75.0% | 市民意識調査から |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 69.6% | 69.3% | 71.0% | 70.5% | 72.0% | 70.4% | 73.0% | | 74.0% | | 75.0% | |
| | 指標2 | 69.7% | 70.8% | 71.0% | 70.6% | 72.0% | 70.3% | 73.0% | | 74.0% | | 75.0% | |
| | 指標3 | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|-----------------------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 都市計画事務 | 都市計画課 | 14,354 | 22,691 | 23,056 | 25,167 | 20,621 | 23,227 | | | | | |
| 2 建築確認事務 | 都市計画課 | 6,855 | 9,750 | 9,749 | 11,214 | 7,312 | 5,286 | | | | | |
| 3 (財)都市計画協会参画事務 | 都市計画課 | 477 | 424 | 424 | 424 | 230 | 230 | | | | | |
| 4 福岡県都市計画協会参画事務 | 都市計画課 | 1,024 | 1,041 | 836 | 871 | 464 | 498 | | | | | |
| 5 筑後川中流域都市計画連絡協議会参画事務 | 都市計画課 | 544 | 354 | 334 | 334 | 269 | 269 | | | | | |
| 6 佐野東地区まちづくり事業 | 都市計画課 | 1,492 | 3,182 | 2,182 | 3,182 | 4,734 | 10,361 | | | | | |
| 7 西鉄二日市駅周辺整備連絡協議会参画事務 | 都市計画課 | 1,090 | 590 | 590 | 590 | 386 | 386 | | | | | |
| 8 清算金徴収事務 | 都市計画課 | 7,544 | 7,371 | 7,788 | 6,197 | 16,871 | 1,473 | | | | | |
| 9 公園の維持・管理及び改良事業 | 建設課 | 72,508 | 79,354 | 76,632 | 74,890 | 75,267 | 75,090 | | | | | |
| 10 公園長寿命化計画実施 | 建設課 | 61,887 | 63,772 | 57,507 | 59,772 | 57,913 | 73,694 | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 167,775 | 188,529 | 179,098 | 182,641 | 184,067 | 190,514 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果
 ・福岡県都市計画道路検証方針に基づき、都市計画道路(長期未着手)2路線の廃止及び当該道路に関連する用途地域変更について、都市計画決定を行った。
 ・平成21年度から継続してきた佐野東地区まちづくり懇話会の取組を受け、佐野東地区まちづくり構想の策定に着手した。
 ・公園長寿命化計画に基づき公園遊具の改修を行った。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
 ・佐野東地区まちづくりについては、関係者の機運の盛り上がりが必要であり、事業実施までには長期間を要するものである。
 ・市民意識調査結果(平成25年3月)によると、家の近くにあると便利だと思ふ施設として、スーパー、病院・総合病院・個人病院公園・スポーツ公園・歴史公園を挙げる回答が上位となっており、民間施設の立地も生活利便性向上の要因となっている。都市計画マスタープラン(平成10年3月)について、良好な住環境を確保するとともに、人口減少、超高齢社会を視野に入れた、長期的視点を持つ計画となるよう見直ししていく必要がある。また、都市計画の決定、変更が適切な事項については計画的に実施していく必要がある。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
 ・平成26年度完了を目途に佐野東地区まちづくり構想策定に取り組む。
 ・平成27年度完了を目途に都市計画マスタープランの改定に取り組む。
 ・公園長寿命化計画に基づいて、国庫補助制度を活用し、引き続き公園遊具の改修を行う。

| | | |
|---|---|-----------------------------------|
| 部長確認欄 | 記入日 | 7 月 31 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 ・施策の成果について目標値には達していないが、経年の推移においては高い水準を維持している。 ・佐野東地区のまちづくりについては地権者の意向を重視する必要がある。 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 ・今後の人口動向や超高齢社会への対応も視野に入れた都市計画マスタープランを策定していく必要がある。 | 所属部長名 4 建設部長 辻 友治 内線 435 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------------|---------------------------|-------|------------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 7 月 30 日 |
| 施策名 | 24 地域交通体系の整備 | 施策コード | 5 - 24 |
| 第五次総合計画 目標 | 5 魅力的な生活空間が整い産業が活気つくまちづくり | 施策統括課 | 14 建設部建設課 |
| | | 統括課長名 | 眞子 浩幸 内線 429 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
市民が市内や市外へ移動しやすくするためには、骨格となる道路の整備と鉄道、バスなどの連携が重要である。都市計画道路については、未着手のものもあり、その必要性を検討しながら事業を進めるとともに、身近な生活道路についても安全で快適に通行できるよう、整備が必要である。コミュニティバス「まほろば号」は、利用者の拡大につながる方策を検討し、利便性の向上を図る必要がある。
- (2) 主な事務事業・取り組み
都市計画道路等の幹線道路は必要性を考慮しながら整備・見直しを行う。社会資本整備総合交付金事業による道路改良・舗装補修や県道筑紫野古賀線整備などの道路整備を促進していく。コミュニティバスの利用者拡大に向けた路線の見直し、タイヤ改正等を行うとともに、公共交通の空白地域解消のため、地域にあった公共交通を検討し、整備する。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|--------------------------|-----------------|-----------------|----------|
| 指標1 公共交通の利便性に満足を感じる市民の割合 | 鉄道63.7%、バス31.1% | 鉄道65.0%、バス50.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 歩道が設置されている市道の延長 | 33,250m | 34,500m | 道路台帳から |
| 指標3 4m以上の市道の延長 | 243,330m | 250,000m | 道路台帳から |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----|-----------------|----|-----------------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 鉄道63.7%、バス31.1% | 鉄道66.2%、バス35.2% | 鉄道65.0%、バス35.0% | 鉄道66.6%、バス41.0% | 鉄道65.0%、バス35.0% | 鉄道64.1%、バス39.2% | 鉄道65.0%、バス40.0% | | 鉄道65.0%、バス45.0% | | 鉄道65.0%、バス50.0% | |
| | 指標2 | 33,250m | 33,255m | 33,400m | 33,328m | 33,600m | 33,521m | 33,650m | | 33,750m | | 34,500m | |
| | 指標3 | 243,330m | 244,396m | 245,500m | 245,244m | 246,600m | 245,895m | 247,700m | | 248,800m | | 250,000m | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|--------------------------------|----------|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 一般県道地元負担金事業 | 建設課 | 0 | 0 | 0 | 327 | 327 | 327 | | | | | |
| 2 県道路協会参画事業 | 建設課 | 306 | 311 | 284 | 309 | 714 | 599 | | | | | |
| 3 筑紫野・古賀線道路建設促進期成会参画事業 | 建設課 | 882 | 922 | 734 | 774 | 912 | 952 | | | | | |
| 4 九州国道協会参画事業 | 建設課 | 221 | 219 | 219 | 219 | 449 | 509 | | | | | |
| 5 用地取得事業 | 建設課 | 13,085 | 14,489 | 13,181 | 14,511 | 67,098 | 24,668 | | | | | |
| 6 隅切り・セツバックに係る事務 | 建設課 | 45,655 | 42,841 | 55,101 | 150,341 | 174,036 | 64,210 | | | | | |
| 7 社会資本整備総合交付金事業 | 建設課 | 424,893 | 262,313 | 404,070 | 181,418 | 278,658 | 229,077 | | | | | |
| 8 市営土木事業 | 建設課 | 157,014 | 40,392 | 85,384 | 122,137 | 115,952 | 116,773 | | | | | |
| 9 道路・水路維持補修事業 | 建設課 | 15,366 | 30,106 | 34,309 | 59,306 | 84,513 | 39,503 | | | | | |
| 10 林道工事関係事務事業 | 建設課 | 2,897 | 5,278 | 4,786 | 3,578 | 3,570 | 9,602 | | | | | |
| 11 市道(重道等含む)・橋梁・河川等の維持管理に関する事務 | 建設課 | 85,100 | 88,239 | 100,760 | 60,015 | 59,262 | 105,705 | | | | | |
| 12 道路施設等の剪定・消毒・清掃・草取り | 建設課 | 41,590 | 40,234 | 39,380 | 40,617 | 39,845 | 40,480 | | | | | |
| 13 市道等の公共施設台帳の整備に関する事務 | 建設課 | 8,915 | 11,742 | 6,409 | 9,104 | 8,286 | 7,123 | | | | | |
| 14 所管の公共用地の境界確認に関する事務 | 建設課 | 11,574 | 11,895 | 11,965 | 11,609 | 7,529 | 11,081 | | | | | |
| 15 市道の認定・用途廃止に関する事務 | 建設課 | 2,110 | 2,272 | 2,272 | 2,272 | 2,067 | 2,067 | | | | | |
| 16 寄附採納及び用地の交換及び払下げに関する事務 | 建設課 | 10,164 | 4,941 | 4,941 | 4,941 | 4,402 | 4,402 | | | | | |
| 17 市道等の公共施設の占用及び工事施行承認に関する事務 | 建設課 | 6,234 | 9,006 | 9,006 | 9,006 | 7,421 | 7,421 | | | | | |
| 18 道路認定証明及び幅員証明に関する事務 | 建設課 | 564 | 574 | 574 | 574 | 846 | 846 | | | | | |
| 19 放置自転車等撤去業務 | 都市計画課 | 6,503 | 6,652 | 6,552 | 6,602 | 4,030 | 4,060 | | | | | |
| 20 福岡都市圏交通対策協議会参画事務 | 都市計画課 | 1,629 | 334 | 334 | 334 | 116 | 116 | | | | | |
| 21 地域交通体系整備促進協議会参画事業 | 都市計画課 | 450 | 354 | 354 | 354 | 252 | 252 | | | | | |
| 22 コミュニティバス運営事業 | 協働のまち推進課 | 165,430 | 156,790 | 133,891 | 155,424 | 154,390 | 156,342 | | | | | |
| 23 駐車場情報提供事業 | 都市計画課 | 4,020 | 3,656 | 4,057 | 4,156 | 4,026 | 4,926 | | | | | |
| 24 自動車駐車場管理運営事業 | 都市計画課 | 4,408 | 10,196 | 9,457 | 8,381 | 7,605 | 2,898 | | | | | |
| 25 自転車駐車場管理運営事業 | 都市計画課 | 4,769 | 4,901 | 4,276 | 3,384 | 2,801 | 9,780 | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 1,013,779 | 748,657 | 932,296 | 849,693 | 1,029,107 | 843,719 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- 社会資本整備総合(地域再生基盤強化)交付金を活用して、関屋・国分寺線、水城駅・口無線の道路改良他3路線の舗装補修工事を実施することができた。
 - コミュニティバス「まほろば号」「マミーズまほろば号」「湯の谷地域線」を順調に運行できた。
 - 駐輪場から常時路上に自転車が出していたJR都府楼南駅駐輪場を民営化し、周辺道路を駐輪禁止区域に指定したため、路上へのはみ出しがなくなり、交通安全の確保がなされ、駐輪場利用者の利便性も向上した。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- 市道改良に引き続き取り組むとともに、県道筑紫野古賀線をはじめとして県道整備の早期完成を図る必要がある。
 - コミュニティバス路線の定着はしているが、利用者が増えない路線がある反面、路線延長・増便の要望のあがっている路線もある。
 - 駐輪場の管理運営について、効率的な運営を検討していく必要がある。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- 市道の改良について社会資本整備総合交付金を活用して継続して進める。
 - コミュニティバスについては利便性の向上、効率的な運営に努める。
 - 市営駐輪場の管理運営の効率化を進めていく。

| | | |
|--|------------------------------------|-------------------------|
| 部長確認欄 | 記入日 | 7 月 31 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 |
| ・交付金制度を活用して道路改良が進捗した。 ・コミュニティバスについては市民の交通手段のひとつとして定着している。 | ・市民生活の重要な基盤である道路の改良に継続して取り組む必要がある。 | 4 建設部長 辻友治 内線 435 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|---------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 25 良質な水道水の安定供給 | 施策コード | 5 - 25 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 18 上下水道部上下水道課 |
| 目標 | 5 魅力的な生活空間が整い産業が活気づくまちづくり | 統括課長名 | 石田 宏二 内線 415 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

・本市はこれまで慢性的な水不足にあったが、大山ダムの完成によってこの長年の懸案は解消され、水は十分確保されたところである。今後においては、効率的な給水サービスに努めながら健全な事業運営を目指していく必要がある。
 ・水道施設の老朽化に伴うアセットマネジメントへの取り組みが課題となっている。

(2) 主な事務事業・取り組み

・配水管の新設及び布設替工事を計画的に実施する。
 ・市内3カ所の貯水施設及び浄水場の監視運転業務委託を継続的に行う。
 ・水道施設の維持管理を適正に実施するとともに、受水計画に沿って効率的な浄水運転を行う。
 ・水道普及率の向上を図るため、普及促進計画を策定し、未加入者へのチラシ配布や広報紙及びホームページを活用して啓発を行う。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|-------------|------------|------------|-------|
| 指標1 最大稼働率 | | 83.0% | 80.0% |
| 指標2 給水人口普及率 | | 79.6% | 85.0% |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0.0% |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 指標1 | | 83.0% | 88.5% | 92.0% | 89.9% | 94.0% | 92.1% | 78.1% | | 78.7% | | 80.0% | |
| 指標2 | | 79.6% | 79.8% | 80.8% | 80.7% | 81.8% | 82.4% | 82.5% | | 83.7% | | 85.0% | |
| 指標3 | | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | |

(2) 構成事務事業

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|-----|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 給配水施設整備事業 | 施設課 | 509,841 | 817,667 | 622,977 | 764,482 | 795,994 | 96,229 | | | | | | |
| 2 浄水施設維持管理業務 | 施設課 | 537,291 | 538,922 | 524,121 | 500,821 | 493,300 | 609,555 | | | | | | |
| 3 水道事業財務会計事務 | 上下水道課 | 18,946 | 19,088 | 18,864 | 17,678 | 19,291 | 19,983 | | | | | | |
| 4 水道使用料調定収納事務 | 上下水道課 | 40,551 | 50,455 | 44,595 | 49,482 | 44,239 | 50,801 | | | | | | |
| 5 水道事業広報啓発事務 | 上下水道課 | 1,281 | 1,281 | 1,281 | 1,281 | 1,281 | 1,281 | | | | | | |
| 6 水道普及促進事業 | 上下水道課 | 1,281 | 1,281 | 1,281 | 1,431 | 1,446 | 1,512 | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 1,109,191 | 1,428,694 | 1,213,119 | 1,335,175 | 1,355,551 | 779,361 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

・第6次拡張事業等をはじめ、概ね建設改良実施計画に沿って予定通りに進めることができた。
 ・万葉台団地や集合住宅など、井水から市水へ118戸切替することができた。
 ・太宰府市水道普及促進計画書を策定した。
 ・調定収納事務においては、コンビニ収納が徐々に定着し、収納サービスの向上を図ることができた。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

・3カ年の特例措置としている水道加入負担金の減額については、平成25年9月末までとなっている。加入の状況及び関係者協議の進捗等を含めて十分に検討し、継続の可否を決定する必要がある。
 ・アセットマネジメントの取り組みについては、まず資産台帳の点検確認作業を進めていく。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)

・平成25年度以降受水量の増加に伴って、浄水計画書(マニュアル)づくりを平成25年度上半期を目途に進める必要がある。
 ・今後、給水収益の増収対策を経営上の最重要課題としており、普及促進計画に基づき、計画的に普及啓発活動を進める。
 ・水道加入負担金減額措置については、延長の方向で内部協議を進める。
 ・料金収納事務の委託化については、費用対効果を十分見極めながら調査検討を進める。

部長確認欄

| | | | |
|-------------------------|---|-------|-------------------------------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 記入日 | 8 月 9 日 |
| 実施計画を作成し、概ね施策推進が図られている。 | 構成事務事業の取り組みによって、一定程度の成果が見られる。今後残された課題については、方針に沿って進めること。 | 所属部長名 | 5 上下水道部長 松本 芳生 内線 354 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|---------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 26 下水道の整備と普及促進 | 施策コード | 5 - 26 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 18 上下水道部上下水道課 |
| 目標 | 5 魅力的な生活空間が整い産業が活気づくまちづくり | 統括課長名 | 石田 宏二 内線 415 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- ・北谷地区の汚水整備については、県道筑紫野・古賀線の拡幅事業が遅れていることから、旧道を利用したの下水道整備の必要性が生じている。
 - ・奥園雨水幹線工事については、完成に向けて目途が立っているが、長年の懸案となっている陣ノ尾雨水幹線、芝原雨水幹線の整備を着実に推進する必要がある。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- ・汚水管渠整備は、内山地区、松川地区の枝線を整備する。
 - ・雨水排水施設整備は、奥園雨水幹線、陣ノ尾雨水幹線、芝原雨水幹線を整備する。
 - ・未水洗化世帯への訪問を適宜に実施するとともに、アンケート形式による今後の水洗化計画などの調査を実施する。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|--------------|------------|------------|----|
| 指標1 下水道汚水整備率 | 83.2% | 90.0% | |
| 指標2 水洗化人口普及率 | 95.4% | 97.0% | |
| 指標3 雨水幹線整備率 | 81.5% | 95.0% | |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|-----|--|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | | |
| 指標1 | | 83.2% | 83.9% | 84.6% | 84.1% | 85.5% | 84.4% | 86.2% | | 87.8% | | 90.0% | | | |
| 指標2 | | 95.4% | 95.6% | 95.8% | 96.2% | 96.1% | 96.3% | 96.4% | | 96.7% | | 97.0% | | | |
| 指標3 | | 81.5% | 84.8% | 87.2% | 84.8% | 89.6% | 84.8% | 92.4% | | 93.7% | | 95.0% | | | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|---------------------|-------|---------|---------|---------|----|---------|---------|---------|----|---------|----|---------|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 汚水管渠維持管理及び水洗化促進業務 | 施設課 | 35,979 | 38,183 | 34,541 | | 37,560 | 29,688 | 34,879 | | | | | |
| 2 雨水幹線整備事業 | 施設課 | 188,568 | 409,975 | 125,058 | | 550,900 | 241,639 | 546,229 | | 182,907 | | 26,907 | |
| 3 汚水管渠整備事業 | 施設課 | 129,744 | 158,901 | 68,723 | | 87,301 | 134,579 | 75,850 | | 63,800 | | 138,800 | |
| 4 下水道事業財務会計事務 | 上下水道課 | 15,164 | 15,120 | 14,915 | | 15,011 | 16,491 | 16,833 | | | | | |
| 5 下水道使用料調定収納事務 | 上下水道課 | 51,115 | 59,312 | 57,661 | | 60,193 | 41,729 | 43,167 | | | | | |
| 6 受益者負担金賦課徴収事務 | 上下水道課 | 1,929 | 1,822 | 2,046 | | 2,022 | 9,921 | 10,127 | | | | | |
| 7 下水道事業広報啓発事務 | 上下水道課 | 893 | 893 | 893 | | 893 | 893 | 893 | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 423,392 | 684,206 | 303,837 | | 753,880 | 474,940 | 727,978 | 0 | 246,707 | 0 | 165,707 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- ・内山地区の汚水管整備については、計画どおり竣工した。
 - ・奥園雨水幹線については、前年度から引き続き、繰越事業となったが、完成の目途が立った。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- ・準都市計画区域(北谷・内山地区)の汚水整備については、現計画に沿って進める必要がある。
 - ・芝原雨水幹線、陣ノ尾雨水幹線を早急に整備する必要がある。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- ・北谷の山浦地区の下水道整備に関するルート選定について、調査検討を進めていく。
 - ・雨水対策については、先ず3か年事業としている奥園雨水幹線を完成させ、当該地域の浸水被害の解消を図ることとする。その他の地域については、建設改良実施計画に沿って進めるものとする。
 - ・下水道使用料の引き下げについては、平成26年4月実施に向けて進めていく。

| | | | |
|-------------------------|---|-------|---------------------------|
| 部長確認欄 | | 記入日 | 8 月 9 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 実施計画を策定し、概ね施策推進が図られている。 | 構成事務事業の取り組みによって、一定程度の成果が見られる。今後残された課題については、方針に沿って進めること。 | 5 | 上下水道部長 松本 芳生 内線 354 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|---------------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 8 日 |
| 施策名 | 27 産業の振興 | 施策コード | 5 - 27 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 5 総務部商工農政課 |
| 目標 | 5 魅力的な生活空間が整い産業が活気づくまちづくり | 統括課長名 | 大田 清蔵 内線 440 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- ・さまざまな構造変化で厳しさを増すなか商工会等との連携の強化や、観光客を商工業の活性化にどの様につなげていくかが課題である。
 - ・中小企業の経営安定、基盤強化を図るための中小企業対策の充実を図る必要がある。
 - ・ほとんどが兼業農家で農業者の高齢化が進んでいるなか、農業経営の継続を図るため、担い手育成と都市近郊農業を推進していく必要がある。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- ・商工業の振興と地域経済の発展のため、商工会に補助金を交付し、その活動支援を行う。
 - ・企業の経営安定、商工業の振興のため、市内の中小企業に融資制度などを行う。
 - ・耕作放棄地防止のため、農地パトロールを行う。
 - ・農業者戸別所得補償制度を活用し米や野菜等の作付け拡大を図り、農業後継者の育成につなげて都市近郊農業の推進を行う。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|----------------------|------------|------------|-----------|
| 指標1 主に市内で買物している市民の割合 | 67.8% | 75.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 耕作放棄地面積 | 235アール | 210アール | 耕作放棄地調査から |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

| (1) 施策成果指標の達成状況 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|-----------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|----|
| | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 67.8% | 72.7% | 73.2% | 69.5% | 73.7% | 65.7% | 74.2% | | 74.7% | | 75.0% | | |
| | 指標2 | 235アール | 235アール | 230アール | 235アール | 225アール | 235アール | 220アール | | 215アール | | 210アール | | |
| | 指標3 | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | | |

| (2) 構成事務事業 | 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------|----------------|-------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|----|-----|----|-----|--|
| | | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | |
| 1 | 商工会活動支援事業 | 商工農政課 | 22,376 | 22,769 | 22,769 | 17,769 | 23,236 | 17,236 | | | | | | |
| 2 | 中小企業融資事業 | 商工農政課 | 58,869 | 56,643 | 58,542 | 59,036 | 56,006 | 56,406 | | | | | | |
| 3 | 農業委員会業務 | 商工農政課 | 12,948 | 11,813 | 11,949 | 11,791 | 9,789 | 10,400 | | | | | | |
| 4 | 都市近郊農業推進事業 | 商工農政課 | 2,341 | 10,130 | 9,806 | 10,780 | 8,692 | 9,675 | | | | | | |
| 5 | 県土地改良事業団体連合負担金 | 建設課 | 174 | 166 | 170 | 164 | 454 | 454 | | | | | | |
| 6 | 農業用排水路等整備事業 | 建設課 | 1,990 | 4,519 | 3,822 | 4,425 | 3,514 | 5,973 | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | | 98,698 | 106,040 | 107,058 | 103,965 | 101,691 | 100,144 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- ・商工会に対し活動補助金を交付することにより、商工会による市内中小企業への経営指導や支援等が行われる。
 - ・プレミアム商品券への補助により地域経済の活性化を図った。
 - ・中小企業事業資金融資により中小企業の運営資金や設備投資資金が確保され経営の安定に寄与した。
 - ・農業者戸別所得補償制度への集落説明会を開催し加入促進を図り、水稲や野菜等の作付け拡大に取り組んだ。
 - ・農業委員による農地パトロールを行った。
 - ・鳥獣被害防止総合対策交付金によるイノシシ侵入防止柵の設置を行い、農作物の被害防止に取り組んだ。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- ・中小企業の経営環境は厳しく、地域経済の活性化対策や経営安定のための経営指導が引き続き必要である。
 - ・農家の高齢化等により水稲の作付面積が減少しており、減反水田への野菜等の作付け拡大に取り組む必要がある。
 - ・イノシシによる農作物等への被害は発生しており、継続した対策が必要となっている。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- ・商工会による経営指導や事業資金融資の継続、プレミアム商品券等による地域経済の活性化対策等が必要である。
 - ・農業者戸別所得補償制度を利用して水稲や野菜等の作付け拡大に取り組む。
 - ・鳥獣被害防止のため、猟友会・農事組合等と連携した捕獲駆除に取り組む。

| 部長確認欄 | | 記入日 | 8 月 8 日 |
|---|---|---------------------------|---------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 中小零細事業主が主な本市では、なかなか難しい問題が多いが、商工会と連携を図りながら行政としても支援していく必要がある。 | 高齢化時代のニーズに合った中小事業者対策も必要。イノシシ対策についても、出来ることから取り組みを強化していきたい。 | 1 総務部長 三笠 哲生 内線 546 | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|-----------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 5 日 |
| 施策名 | 28 文化遺産の保存と活用 | 施策コード | 6 - 28 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 16 教育部文化財課 |
| 目標 | 6 歴史を活かし文化を守り育てるまちづくり | 統括課長名 | 菊武 良一 内線 471 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- ・史跡地公有化における先行取得事業(国80%、県15%)の堅持
 - ・年々増加する公有地(史跡地)の維持管理費への対応
 - ・収蔵資料の増加に伴う、新規収蔵施設の確保
 - ・史跡地管理ボランティア育成支援
- (2) 主な事務事業・取り組み
- ・史跡地の保存活用のため、計画的な史跡地公有化事業に取り組む。
 - ・年々増加する公有地(史跡地)を草刈りや樹木伐採を実施し、適切に管理する。
 - ・平成26年の水城築堤1350年に向け、本格整備に取り組む。
 - ・文化遺産を活かしたまちづくりを実践するため、景観・市民遺産育成団体や認定市民遺産に対して、側面的に支援を行う。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|----------------|------------|------------|----|
| 指標1 史跡公有化率 | 52.1% | 60.0% | |
| 指標2 市指定文化財指定件数 | 10件 | 35件 | |
| 指標3 市民遺産の認定件数 | 0件 | 15件 | |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----|-----|----|-----|----|-------|--|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | | |
| 指標1 | 52.1% | 53.5% | 54.5% | 55.9% | 58.3% | 58.7% | 60.0% | | | | | | | 60.0% | |
| 指標2 | 10件 | 17件 | 22件 | 17件 | 20件 | 20件 | 23件 | | | | | | | 35件 | |
| 指標3 | 0件 | 4件 | 8件 | 6件 | 8件 | 8件 | 10件 | | | | | | | 15件 | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|---------------------|------|-----------|---------|---------|----|-----------|---------|-----------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 史跡地公有化事業 | 文化財課 | 759,578 | 705,128 | 704,612 | | 711,856 | 711,061 | 812,257 | | | | | |
| 2 国、九州、県史跡整備協議会参画事業 | 文化財課 | 2,595 | 1,353 | 509 | | 2,987 | 8,126 | 7,680 | | | | | |
| 3 史跡対策委員会運営事業 | 文化財課 | 3,687 | 74 | 59 | | 3,694 | 1,813 | 1,792 | | | | | |
| 4 文化財調査事業 | 文化財課 | 46,834 | 28,811 | 23,347 | | 49,136 | 38,612 | 48,274 | | | | | |
| 5 原因者負担分文化財調査事業 | 文化財課 | 54,097 | 88,347 | 46,528 | | 53,384 | 25,737 | 56,784 | | | | | |
| 6 史跡地管理事業 | 文化財課 | 42,888 | 45,695 | 43,139 | | 48,796 | 47,367 | 49,585 | | | | | |
| 7 文化財専門委員会運営事業 | 文化財課 | 4,459 | 124 | 105 | | 4,494 | 2,886 | 2,920 | | | | | |
| 8 文化財収蔵施設整備事業 | 文化財課 | 3,101 | 0 | 0 | | 3,101 | 2,229 | 2,229 | | | | | |
| 9 水城跡整備事業 | 文化財課 | 15,495 | 10,037 | 10,033 | | 19,221 | 16,970 | 22,236 | | | | | |
| 10 大宰府跡等整備事業 | 文化財課 | 2,512 | 0 | 0 | | 5,551 | 5,001 | 6,888 | | | | | |
| 11 文化ふれあい館管理運営事業 | 文化財課 | 57,397 | 51,895 | 56,190 | | 57,416 | 56,402 | 60,115 | | | | | |
| 12 大宰府展示館管理運営事業 | 文化財課 | 6,580 | 3,931 | 4,410 | | 6,955 | 5,583 | 5,838 | | | | | |
| 13 太宰府発見塾運営事業 | 文化財課 | 9,355 | 1,480 | 909 | | 10,109 | 8,009 | 8,115 | | | | | |
| 14 史跡管理活用ボランティア育成事業 | 文化財課 | 21,569 | 0 | 0 | | 22,936 | 22,670 | 24,288 | | | | | |
| 15 市民遺産育成事務 | 文化財課 | 19,379 | 1,006 | 958 | | 13,425 | 9,471 | 9,089 | | | | | |
| 16 国立博物館との連携事業 | 文化財課 | 2,124 | 0 | 0 | | 2,124 | 664 | 664 | | | | | |
| 17 新九州歴史資料館との連携事業 | 文化財課 | 2,595 | 0 | 0 | | 2,595 | 2,152 | 2,152 | | | | | |
| 18 筑紫地区文化財関連機関等連携事業 | 文化財課 | 3,553 | 0 | 0 | | 3,553 | 1,569 | 1,569 | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 1,057,798 | 937,881 | 890,799 | | 1,021,333 | 966,322 | 1,122,475 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

史跡地公有化事業は、44筆、約10万㎡の史跡地買上げが出来た。全国530以上の自治体で組織する全国史跡整備市町村協議会の事務局を担うこととなった。マンション建設に伴う原因者負担による発掘調査において、国分松本遺跡より日本最古の戸籍関連「木簡」の出土があった。市民遺産については、新たに2件の市民遺産の認定がなされた。平成26年、27年に水城跡及び大野城跡が築造1350年を迎えることから、関係自治体(福岡県、九州歴史資料館、春日市、筑紫野市、大野城市、宇美町、基山町、太宰府市)の首長による実行委員会を設立した。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

平成26年が水城築堤1350年を迎えることから、水城跡の本格整備に取り組む必要がある。
西鉄操車場跡地から発見された客館跡を史跡指定に向け、地権者(西日本鉄道)から史跡指定の同意をもらう必要がある。
史跡地公有化事業の推進により、毎年管理面積が増加しており、その管理費用の抑制策が求められている。
毎年増加する収蔵品を適切に保存、管理するため、新たな収蔵スペースの確保が必要。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)

水城跡の本格整備については、関係する大野城市、福岡県、九州歴史資料館と協議を重ね、基本設計の今年度内の完成を目指す。
西鉄操車場跡地の史跡指定については、地権者と文化庁との協議を重ね、平成26年度中の史跡指定を目指す。
史跡地維持管理費用の抑制策として、国、県に対して管理費用の補助を要請するとともに、ボランティアを活用する等、維持管理費用の削減に取り組む。
収蔵品の適切な保存、管理を行うため、松川公共施設の利用や新たな収蔵スペースの確保に努める。

| | | | |
|---------------------|---------------------------------------|-----------------------------|---------|
| 部長確認欄 | | 記入日 | 8 月 5 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 太宰府市の特性として必要な事業である。 | これから先も永い取組となり、時間と一定の費用もかかるが、着実に進んでいる。 | 7 教育部長 今泉 憲治 内線 446 | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|-----------------------|-------|------------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 7 月 29 日 |
| 施策名 | 29 観光基盤の整備充実 | 施策コード | 6 - 29 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 4 総務部観光交流課 |
| 目標 | 6 歴史を活かし文化を守り育てるまちづくり | 統括課長名 | 篠原 司 内線 481 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- ・観光施策推進の拠り所として、産業振興等の他施策と連携した地域経済活性化をめざす戦略的なビジョン等の策定が必要である。
 - ・土地利用や都市計画をはじめ、景観まちづくり、歴史まちづくり等と連携した観光拠点や交通等の観光基盤の整備を図る必要がある。
 - ・滞留型、通年型観光をめざし、関係団体と連携した回遊性を高める魅力ある仕掛けをつくるとともに、市を挙げたもてなしを行うなど、来訪者の満足度を向上することにより、来訪者やリピーターを増やし、その波及効果として地域経済活性化を図っていく必要がある。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- ・市内関係団体と連携した観光情報の発信。関係機関等と連携した観光プロモーションの推進など、観光宣伝事業の充実、強化。
 - ・観光拠点機能としての太宰府館の円滑な管理運営。また、観光案内所の運営業務委託、太宰府観光協会運営補助。
 - ・市内回遊性を向上した滞在型観光に向けた条件整備事業、年末年始の観光対策事業。
 - ・他団体と連携した観光事業の展開。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|----------------|------------|------------|------------|
| 指標1 観光客入込み数 | 714万人 | 720万人 | 観光協会調査から |
| 指標2 観光客の平均滞在時間 | 2.5時間 | 3.5時間 | 来訪者アンケートから |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-----|----|-----|-------|-----|--|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | | |
| 指標1 | 観光客入込み数 | 714万人 | 722万人 | 700万人 | 700万人 | 720万人 | 769万人 | 720万人 | | | | | 720万人 | | |
| 指標2 | 観光客の平均滞在時間 | 2.5時間 | 2.5時間 | 2.7時間 | 2.7時間 | 2.7時間 | 2.8時間 | — | | | | | 3.5時間 | | |
| 指標3 | | 0.0% | | | | | | | | | | | 0.0% | | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------------|-------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|-----|----|-----|----|-----|---|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | |
| 1 観光宣伝事業 | 観光交流課 | 12,169 | 18,353 | 17,059 | 21,344 | 15,118 | 18,765 | | | | | | |
| 2 観光案内所運営業務委託・観光協会運営補助 | 観光交流課 | 4,964 | 4,964 | 4,964 | 12,544 | 12,506 | 12,920 | | | | | | |
| 3 太宰府館管理運営業務委託 | 観光交流課 | 30,571 | 42,607 | 40,707 | 43,666 | 35,837 | 38,594 | | | | | | |
| 4 滞留型観光への条件整備 | 観光交流課 | 53,833 | 30,083 | 24,907 | 26,690 | 20,087 | 26,746 | | | | | | |
| 5 太宰府ブランド創造協議会運営事務 | 観光交流課 | 10,447 | 10,447 | 10,447 | 10,947 | 8,229 | 8,229 | | | | | | |
| 6 九州国立博物館関連事務 | 経営企画課 | 3,416 | 3,416 | 3,416 | 3,416 | 619 | 619 | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 115,400 | 109,870 | 101,500 | 118,607 | 92,396 | 105,873 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

3・11東日本大震災の影響等により、観光客が東北地方を敬遠し九州地方と関西地方に流れる傾向となっている。また、関係団体と連携したきめ細かな観光情報の提供を行うとともに、関係機関と連携した関東や関西方面への観光プロモーション活動を実施することにより、平成24年度の観光客入り込み数は769万人となり、前年度対比約10%の増という成果が上がった。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

「太宰府観光・産業経済活性化連絡協議会」を立ち上げたことから、情報や課題の共有を図りながら、共同事業を展開していくこととしている。こうしたことから、太宰府観光協会や太宰府市商工会をはじめとした関係団体等の多様な主体と連携した取組を進めていく必要がある。ひいては、観光・産業の振興を戦略的に進め地域の経済活性化を図るための拠り所とし観光戦略ビジョンづくり等に向けた取組を進める必要がある。そして、将来の史跡観光を見据えた土地利用や都市計画、景観・歴史まちづくりなどとの連携した総合的な施策を展開していく必要がある。とりわけ、史跡観光を中心として観光まちづくりとして観光振興を図るうえでも、観光の意義等を市民に理解、協力してもらうことが重要である。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取組など)

太宰府観光協会や太宰府市商工会など、多様な主体との協議の場を設けて、情報を共有しつつ、連携して観光の取組を進めていく。この延長線上として、観光・産業振興を戦略的に展開し地域の経済活性化をめざした、ビジョン等づくり、人づくり、組織づくりをめざす。

| 部長確認欄 | | 記入日 | 月 | 日 |
|--|--|---------------------------|---|---|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | | |
| 多様な主体と連携強化を図りながら、国内はもとより国外からの観光客等の誘致活動を展開していく。 | 正確な観光客等の入込み数を把握するため、関係団体と連携しながら、手法を含めて検討していく必要がある。 | 1 総務部長 三笠 哲生 内線 546 | | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|-----------------------|-------|------------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 7 月 29 日 |
| 施策名 | 30 国際交流・友好都市交流の推進 | 施策コード | 6 - 30 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 4 総務部観光交流課 |
| 目標 | 6 歴史を活かし文化を守り育てるまちづくり | 統括課長名 | 篠原 司 内線 481 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- ・太宰府の歴史的背景を踏まえ、共生のまちづくりをめざすため、国際交流振興のあり方を論議しつつ、将来ビジョンづくり、国際感覚豊かな人材の育成等を進めていく必要がある。また、公益法人化をめざしている太宰府市国際交流協会への側面的支援が急務となっている。
 - ・大韓民国扶餘郡との承継協定書を締結したことから、一層行政間交流をはじめ草の根の民間交流を活発に展開していく必要がある。
 - ・市民をはじめ、関係団体等による友好都市との地域間同士の草の根交流を支援していくことが求められている。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- ・姉妹都市との交流を進めるとともに、在住外国人や留学生と市民との相互理解を深めるための交流活動の推進。
 - ・友好都市との交流を進めるとともに、市民や関係団体等による草の根交流の促進。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|-----------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 日頃から市内在住外国人と交流している市民の割合 | 5.3% | 10.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 姉妹都市・友好都市を認知している市民の割合 | 33.0% | 50.0% | 市民意識調査から |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-----|----|-------|----|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 指標1 | 指標1 | 5.3% | 4.6% | 6.0% | 7.0% | 7.0% | 5.1% | 7.0% | | | | 10.0% | |
| 指標2 | 指標2 | 33.0% | 24.6% | 35.0% | 60.1% | 40.0% | 45.8% | 45.0% | | | | 50.0% | |
| 指標3 | 指標3 | 0.0% | | | | | | | | | | 0.0% | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------------------|-------|--------|--------|--------|---------|---------|--------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 姉妹都市扶餘交流事業 | 観光交流課 | 7,511 | 8,290 | 8,109 | 7,101 | 8,221 | 6,897 | | | | | |
| 2 国際交流活動団体との連携 | 観光交流課 | 8,409 | 8,369 | 8,369 | 207,984 | 205,349 | 16,175 | | | | | |
| 3 友好都市交流事業 | 観光交流課 | 7,222 | 8,048 | 8,211 | 6,404 | 6,280 | 6,053 | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 23,142 | 24,707 | 24,689 | 221,489 | 219,850 | 29,125 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- 太宰府市国際交流協会への支援を行うことにより、市民等の国際交流への理解をはじめ、国際交流事業等を実施することができた。大韓民国扶餘郡との姉妹都市交流を踏まえて、扶餘郡と承継協定を締結することができた。友好都市「奈良市」との締結10年記念事業として、文化交流事業の実施、また、太宰府観光協会や太宰府市商工会等と連携して物産展への参画を実施することができた。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- ・今後の国際交流振興のあり方や将来ビジョン等づくりをめざした取り組みを進める必要がある。また、公益法人化をめざしている太宰府市国際交流協会への支援をしていく必要がある。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- ・国際交流の原点に立ち返り、民間による草の根交流を活発に展開するためにも、国際交流振興のあり方等について、関係機関をはじめ、太宰府市国際交流協会等との協議を通して課題等を整理し、地域と地域、人と人とのつながりを大切に取組を着実に進めていく。

| 部長確認欄 | | 記入日 | 月 | 日 |
|--|---|--------|---|---|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | | |
| 友好都市交流については、市民交流等による草の根交流を促進するため、具体的な事業を展開し市民の認知度を向上を図る。 | 国際交流の振興については、(公財)太宰府市国際交流協会との役割分担を明確にしなが、官民交流を進めていく必要がある。 | 1 | | |
| | | 三笠 哲生 | | |
| | | 内線 546 | | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|--------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 31 市民参画の推進 | 施策コード | 7 - 31 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 3 総務部協働のまち推進課 |
| 目標 | 7 市民と共に考え共に創るまちづくり | 統括課長名 | 藤田 彰 内線 540 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- ①自治基本条例は、まちづくり市民会議での論議が深まりっており制定に若干の遅れができる可能性がある②南小学校開放教室は地域コミュニティの中核となる施設であることから今後の活用方法の検討が必要である③政庁まつりは経費が増嵩となっているので整理等が必要④地域コミュは地域のことは地域で解決する傾向にはなっているが、まだまだ地域差がある⑤NPO・ボランティアは支援センターの情報収集と提供により、少しずつ認知されてきているが、地域コミュとの連携・協力の推進が必要⑥特定の事業はないが、連携を模索する必要がある⑦人材の育成は、地域の現役員の高齢化により、担い手・後継者不足
- (2) 主な事務事業・取り組み
- ①自治基本条例制定事務②南小学校開放教室管理③政庁まつり事務④地域コミュニティ支援事業⑤NPOボランティア支援センターの運営⑥窓口業務⑦市民の人材育成

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|----------------------|------------|------------|----|
| 指標1 各校区自治協議会における委員会数 | 20委員会 | 25委員会 | |
| 指標2 NPO(法人)の認証数 | 29団体 | 50団体 | |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|----|-----|----|-----|----|-------|----|
| | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 指標1 | 20委員会 | 20委員会 | | 21委員会 | | 21委員会 | | | | | | | 25委員会 | |
| 指標2 | 29団体 | 29団体 | | 35団体 | | 36団体 | | | | | | | 50団体 | |
| 指標3 | 0.0% | | | | | | | | | | | | 0.0% | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|-------------------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|----|-----|----|-----|---|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | |
| 1 住民基本条例制定事務 | 協働のまち推進課 | 0 | 7,953 | 7,860 | 11,566 | 12,611 | 9,730 | | | | | | |
| 2 太宰府南小学校開放教室管理事務 | 協働のまち推進課 | 5,521 | 5,671 | 5,626 | 5,766 | 5,803 | 5,897 | | | | | | |
| 3 太宰府市民政庁まつり事業 | 協働のまち推進課 | 14,843 | 11,167 | 11,167 | 13,167 | 11,715 | 9,715 | | | | | | |
| 4 地域コミュニティ支援事業 | 協働のまち推進課 | 74,349 | 76,128 | 75,174 | 79,078 | 76,917 | 74,667 | | | | | | |
| 5 NPOボランティアの育成 | 協働のまち推進課 | 9,058 | 9,247 | 9,034 | 9,129 | 7,694 | 7,897 | | | | | | |
| 6 産学官連携事業 | 経営企画課 | 0 | 0 | 0 | 1,238 | 1,238 | 1,238 | | | | | | |
| 7 市民の人材育成に関する事業 | 協働のまち推進課 | 3,388 | 3,388 | 3,388 | 3,388 | 3,270 | 3,270 | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 107,159 | 113,554 | 112,249 | 123,332 | 119,248 | 112,414 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- ①自治基本条例制定に向けて、審議会・まちづくり市民会議を実施している。
②校区コミュニティセンター設置に向けて校区協議会と協議を開始した。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- 地域コミュニティセンターの設置、地域コミュニティ・ボランティアセンターの充実発展、政庁まつりの整理
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- 地域コミュニティセンターの設置方針の策定

| | | | |
|--|---|---------------------------|----------|
| 部長確認欄 | | 記入日 | 8 月 10 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 多様な主体が参加、交流、連携、協働して豊かさを実感できる地域社会の実現を目指す。 | さまざまな分野における市民やNPO、ボランティアとの連携強化を図る必要がある。 | 1 総務部長 三笠 哲生 内線 546 | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|--------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 32 情報の共有化と活用 | 施策コード | 7 - 32 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 2 総務部情報・公文書館推進課 |
| 目標 | 7 市民と共に考え共に創るまちづくり | 統括課長名 | 百田 繁俊 内線 537 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

・行政の透明性を確保し、施策に市民ニーズを反映させるために、市民と行政による情報の共有化、双方向のコミュニケーションが求められている。
 ・市が保有する情報を効率的に活用し、かつ、適切に管理しなければならない。

(2) 主な事務事業・取り組み

・情報システムを整備し、セキュリティを確保する。
 ・情報公開制度、個人情報保護制度の適切な運用を行う。
 ・定期的に広報紙を発行するとともに、ホームページなどによる迅速な情報発信を行う。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|--------------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 市民と行政の情報共有がなされていると感じる市民の割合 | 36.7% | 50.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 広報だざいふを読んでいる市民の割合 | 83.0% | 90.0% | 市民意識調査から |
| 指標3 市公式ホームページを見ている市民の割合 | 29.0% | 50.0% | 市民意識調査から |

現状把握

| 成果指標 | 指標 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|----|-------|----|-----|--|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | | |
| | 指標1 | 36.7% | 30.6% | 32.7% | 32.7% | 35.0% | 32.1% | 40.0% | | 45.0% | | 50.0% | | | |
| | 指標2 | 83.0% | 87.8% | 84.0% | 84.0% | 85.0% | 85.6% | 90.0% | | 90.0% | | 90.0% | | | |
| | 指標3 | 29.0% | 34.1% | 32.6% | 32.6% | 35.0% | 28.8% | 40.0% | | 45.0% | | 50.0% | | | |

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|---------------------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 情報公開制度・個人情報保護運営事務 | 情報・公文書館推進課 | 6,543 | 7,626 | 7,368 | 5,799 | 2,884 | 4,321 | | | | | | |
| 2 情報セキュリティ対策事業 | 情報・公文書館推進課 | 31,616 | 40,252 | 31,824 | 37,062 | 38,088 | 20,336 | | | | | | |
| 3 行政情報化推進事業 | 情報・公文書館推進課 | 184,981 | 213,932 | 211,763 | 255,346 | 258,095 | 226,987 | | | | | | |
| 4 電子自治体推進事業 | 情報・公文書館推進課 | 5,158 | 5,527 | 5,158 | 5,401 | 8,100 | 7,001 | | | | | | |
| 5 ホームページ運用事業 | 経営企画課 | 3,098 | 3,598 | 3,504 | 3,098 | 4,472 | 4,472 | | | | | | |
| 6 デジタルサイネージ | 経営企画課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16,107 | 1,617 | | | | | | |
| 7 広報発行事業 | 経営企画課 | 16,752 | 17,409 | 15,825 | 17,409 | 15,214 | 16,984 | | | | | | |
| 8 筑紫記者クラブ連絡調整事務 | 経営企画課 | 807 | 815 | 797 | 775 | 1,996 | 1,996 | | | | | | |
| 9 市勢要覧発行事業 | 経営企画課 | 0 | 5,323 | 5,323 | 0 | 0 | 0 | | | | | | |
| 10 住みよか太宰府まちづくり調査 | 経営企画課 | 5,880 | 5,940 | 5,809 | 6,008 | 1,530 | 1,690 | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 254,835 | 300,422 | 287,371 | 330,898 | 346,486 | 285,404 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

・シンクライアントシステムの第2期整備(平成24年度第3期で完了)を行い、セキュリティ強化と情報の共有化を進めた。
 ・情報公開請求、個人情報開示請求に適切に対応することができた。
 ・市民及び観光客などに対して多様な情報を迅速に伝えるために、デジタルサイネージを設置した。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

・情報セキュリティに関し、ハード面に加えてソフト面(職員の意識向上)の整備を図る必要がある。
 ・総合窓口に向けたシステム構築を検討しなければならない。
 ・市民と行政との双方向のコミュニケーションを充実させる必要がある。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)

・セキュリティポリシーなどの規定を整備し、職員研修の充実を図る。
 ・総合窓口に向けた業務の再構築を行い、クラウドサービスへの対応を見通した業務の標準化を図る。
 ・多様な媒体を活用して、積極的な情報発信と効果的な市民ニーズの把握に努める。

| 部長確認欄 | | 記入日 | 8 月 10 日 |
|---|--|---------------------------|----------|
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 情報の公開、共有は現在検討中の自治基本条例のキーワードであり、条例案策定の進捗状況を確認しながら趣旨に適合した施策の展開に努めていく。 | 社会情勢の変化に対応するため、技術革新の動向を注視しつつ、段階的・計画的に施策の充実と精度向上を図る必要がある。 | 1 総務部長 三笠 哲生 内線 546 | |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------------|--------------------|----------------|----------------------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 33 市民のための行政運営 | 施策コード | 7 - 33 |
| 第五次総合計画 目標 | 7 市民と共に考え共に創るまちづくり | 施策統括課 統括課長名 | 1 総務部経営企画課 濱本 泰裕 内線 501 |

施策概要

(1) 施策の課題・懸案事項

本市の財政状況は健全化判断比率においては健全性を維持しているが、市税や地方交付税などの基本となる財源が低迷する一方、少子高齢化に伴い扶助費や一般行政経費は年々増加し、厳しさを増している。
多様化する市民ニーズに応え、各種施策・事業を確実に実施するためには、時代に即した組織・機構の改革、内部経費の削減や事務事業の見直しはもろんのこと、徹底した行財政改革を進め、健全な財政体質を確立し、将来にわたって財政運営の健全性を確保することが課題となっている。

(2) 主な事務事業・取り組み

- ・第5次総合計画の進行管理
- ・行財政改革
- ・職員の定員管理並びに人材の育成

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|------------------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 効果的に行政運営が行われていると感じる市民の割合 | 48.9% | 80.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 市民一人当たりの市債(借金) | 296,183円 | 262,000円 | |
| 指標3 職員の応対や行動など仕事に対する取組に満足している市民の割合 | 65.7% | 100.0% | 市民意識調査から |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----|-----|----|-----|----|-----|----------|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 成果指標 | 指標1 | 48.9% | 48.5% | 50.0% | 47.5% | 50.0% | 47.6% | 50.0% | | | | | | | 80.0% |
| | 指標2 | 296,183円 | 291,413円 | 290,000円 | 287,105円 | 285,000円 | 282,240円 | 280,000円 | | | | | | | 262,000円 |
| | 指標3 | 65.7% | 60.5% | 70.0% | 57.3% | 70.0% | 59.5% | 70.0% | | | | | | | 100.0% |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|---------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 総合計画策定及び進行管理事務 | 経営企画課 | 19,730 | 3,942 | 3,942 | 3,915 | 3,930 | 5,761 | 5,749 | | | | | |
| 2 行政評価推進事業 | 経営企画課 | 3,824 | 3,824 | 3,824 | 3,824 | 3,824 | 4,093 | 4,093 | | | | | |
| 3 経営会議運営事務 | 経営企画課 | 3,338 | 3,338 | 3,338 | 3,338 | 3,338 | 998 | 998 | | | | | |
| 4 部長会議運営事務 | 経営企画課 | 3,888 | 3,888 | 3,888 | 3,888 | 3,888 | 998 | 998 | | | | | |
| 5 行政改革推進事業 | 経営企画課 | 21,136 | 3,824 | 3,824 | 3,824 | 3,824 | 619 | 619 | | | | | |
| 6 業務改善提案事業 | 経営企画課 | 565 | 565 | 565 | 565 | 565 | 619 | 619 | | | | | |
| 7 指定管理者制度推進事業 | 経営企画課 | 2,317 | 2,317 | 2,317 | 2,317 | 2,317 | 3,474 | 3,474 | | | | | |
| 8 財務事務 | 経営企画課 | 3,479,344 | 3,155,809 | 3,042,791 | 3,042,791 | 2,799,690 | 2,957,358 | 2,569,666 | | | | | |
| 9 関係行政機関等との連携推進事業及び歴史と文化の環境整備事業基金管理事務 | 経営企画課 | 66,359 | 65,671 | 83,450 | 83,450 | 67,372 | 72,189 | 68,074 | | | | | |
| 10 出納事務 | 会計課 | 25,226 | 13,739 | 13,741 | 13,741 | 13,767 | 23,607 | 22,042 | | | | | |
| 11 源泉所得税管理事務 | 会計課 | 3,774 | 3,774 | 3,774 | 3,774 | 3,774 | 4,034 | 4,034 | | | | | |
| 12 決算書調製事務 | 会計課 | 3,194 | 5,753 | 5,753 | 5,753 | 5,753 | 4,720 | 4,720 | | | | | |
| 13 契約管理事務 | 管財課 | 18,834 | 18,835 | 18,834 | 18,834 | 19,333 | 20,309 | 15,161 | | | | | |
| 14 個人市民税賦課事務 | 税務課 | 83,599 | 66,141 | 70,229 | 70,229 | 66,046 | 58,493 | 56,370 | | | | | |
| 15 法人市民税賦課事務 | 税務課 | 21,740 | 16,038 | 17,809 | 17,809 | 15,801 | 15,549 | 13,746 | | | | | |
| 16 軽自動車税賦課事務 | 税務課 | 9,433 | 9,258 | 9,102 | 9,102 | 9,300 | 7,075 | 7,216 | | | | | |
| 17 入湯税賦課事務 | 税務課 | 802 | 774 | 774 | 774 | 774 | 579 | 579 | | | | | |
| 18 歴史と文化の環境税賦課事務 | 税務課 | 16,677 | 18,340 | 17,209 | 17,209 | 17,988 | 15,158 | 15,975 | | | | | |
| 19 市たばこ税賦課事務 | 税務課 | 802 | 774 | 774 | 774 | 774 | 579 | 579 | | | | | |
| 20 固定資産賦課事務 | 税務課 | 24,973 | 24,457 | 24,281 | 24,281 | 24,382 | 19,530 | 18,747 | | | | | |
| 21 固定資産評価事務 | 税務課 | 99,350 | 87,882 | 78,292 | 78,292 | 75,766 | 57,803 | 81,835 | | | | | |
| 22 租税教育推進事業 | 税務課 | 2,054 | 2,070 | 2,069 | 2,069 | 2,076 | 1,965 | 1,966 | | | | | |
| 23 市税滞納整理事務 | 納税課 | 98,612 | 102,495 | 100,306 | 100,306 | 97,785 | 78,194 | 76,986 | | | | | |
| 24 公共施設整備事業 | 公共施設整備推進課 | | | | | 0 | 21,788 | 18,798 | | | | | |
| 25 職員人材育成事務 | 総務課 | 7,252 | 9,962 | 9,038 | 9,038 | 11,532 | 10,534 | 12,264 | | | | | |
| 26 人事評価制度事業 | 総務課 | 3,326 | 6,500 | 5,675 | 5,675 | 6,200 | 9,899 | 10,499 | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 4,020,149 | 3,629,970 | 3,525,572 | 3,525,572 | 3,259,799 | 3,395,925 | 3,015,807 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

(1) 今年度の成果

- ・経常収支比率の改善(H23年度90.9%⇒H24年度90.6%)が図られた。
- ・貴重な財源である「歴史と文化の環境税」を確保することができた。
- ・県下でもトップクラスの市税収納率を維持することができた。

(2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)

- ・公共施設の老朽化が進み、相次いで建替え及び大規模改修の時期を迎えるため、施設の長寿命化、複合化を進める必要がある。
- ・公務員を取り巻く環境の変化や住民のニーズを的確に捉え、柔軟に対応できる職員の育成。
- ・人事評価制度構築を図る必要がある。

(3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)

- ・行政評価と予算との連動。
- ・恒久的な安定財源の確保。
- ・職員に期待される行動基準を明示し、行政サービスの向上を図る。

| | | |
|---|---|-----------------------------|
| 部長確認欄 | 記入日 | 8 月 13 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 |
| これまでの行革により、ある一定の健全財政は保たれているものの、今後の少子高齢社会に対応できる財政体質の確立及び人材の育成に力を入れていかなければならない。 | 需要に対する財源の確保と職員の人材育成に努め、市民サービスの向上を図る必要がある。 | 1 総務部長 三笠 哲生 内線 546 |

平成25年度 太宰府市施策評価シート

| | | | |
|---------|--------------------|-------|-----------------|
| 評価対象年度 | 平成24年度 | 作成日 | 平成 25 年 8 月 9 日 |
| 施策名 | 34 広域連携の推進 | 施策コード | 7 - 34 |
| 第五次総合計画 | | 施策統括課 | 1 総務部経営企画課 |
| 目標 | 7 市民と共に考え共に創るまちづくり | 統括課長名 | 濱本 泰裕 内線 501 |

施策概要

- (1) 施策の課題・懸案事項
- 消防・ごみ・し尿・火葬場・介護保険・上下水道などの一部事務組合などを設け、広域的な事務の共同化に取り組んでいるが、地域主権改革関連の第2次一括法の成立により、都道府県から市町村への権限移譲が進んでいく中、ますます単独では実施困難な事業などについて、他市町と連携して取り組んでいかなければならない。
- (2) 主な事務事業・取り組み
- 福岡都市圏広域推進協議会（福岡市、宗像市、福津市、古賀市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、糸島市、筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川町）において、道路や河川をはじめとする広域的な問題を都市圏一体となって国、県へ要望活動を行っている。
 - 福岡都市圏広域行政推進協議会における筑紫地域共同事業の開催。

施策成果指標

| 指標名 | 基準値(H21年度) | 目標値(H27年度) | 備考 |
|--------------------------------|------------|------------|----------|
| 指標1 広域化により住民サービスが向上したと感じる市民の割合 | 28.2% | 40.0% | 市民意識調査から |
| 指標2 | 0 | 0.0% | 0 |
| 指標3 | 0 | 0.0% | 0 |

現状把握

(1) 施策成果指標の達成状況

| 成果指標 | 指標 | H21 | H22 | H23 | H24 | | H25 | H26 | H27 | | | |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----|-------|--|
| | | 基準 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | |
| 成果指標 | 指標1 | 28.2% | 37.1% | 40.0% | 37.9% | 40.0% | 38.4% | 40.0% | | | 40.0% | |
| | 指標2 | 0.0% | 0.0% | | | | | | | | 0.0% | |
| | 指標3 | 0.0% | 0.0% | | | | | | | | 0.0% | |

(2) 構成事務事業 (単位:千円)

| 事務事業名 | 所管課 | H22 | H23 | | H24 | | H25 | | H26 | | H27 | |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-----|----|-----|----|
| | | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 |
| 1 福岡都市圏広域行政参画事務 | 経営企画課 | 3,845 | 3,845 | 3,845 | 3,849 | 2,956 | 2,956 | | | | | |
| 2 地域主権改革等に関する調査研究事業 | 経営企画課 | 0 | 3,269 | 3,269 | 3,269 | 2,855 | 2,855 | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | |
| 合計(決算・予算とも人件費含む) | | 3,845 | 7,114 | 7,114 | 7,118 | 5,811 | 5,811 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

これまでの成果と今後の展開

- (1) 今年度の成果
- 福岡都市圏広域行政推進協議会における筑紫地域共同事業として、高校生を対象に「ちゃりんこ安全プロジェクト」を開催し、自転車による交通マナー向上のための啓発をおこなった。
- (2) 残されている課題(克服しなければならない問題など)
- 地方分権改革一括法に基づく権限移譲事務の中で、単独での処理が困難あるいは効率性に欠ける事務について共同処理を検討する。
- (3) 今後の方針(残されている課題解決のための取り組みなど)
- 新たな福岡都市圏共同事業実施にむけた検討・意見交換を進めていく。

| | | | |
|---|--------------------------------|---------------------------|----------|
| 部長確認欄 | | 記入日 | 8 月 13 日 |
| (1) 施策に対する全体的な所見 | (2) 成果・課題・方針に対する意見 | 所属部長名 | |
| 国の動向も見据えながら、基礎自治体としての役割を担える力をつけていかなければならない。 | 権限移譲事務の広域での共同処理について、検討する必要がある。 | 1 総務部長 三笠 哲生 内線 546 | |